

令和5年度第2回介護保険運営協議会次第

日時 令和5年10月25日(水)

午後1時30分～3時

場所 一関市役所本庁2階大会議室B

1 開 会

2 挨 拶

3 審 議

(1) 報告事項

ア 指定地域密着型（介護予防）サービス事業者の廃止について（資料No.1）

イ 指定介護予防支援及び第一号介護予防支援事業の一部委託届出について
（資料No.2）

(2) 協議事項

ア 指定介護予防支援事業所の指定更新について（資料No.3）

イ 第9期介護保険事業計画の策定について（資料No.4）

(3) その他

4 その他

5 閉 会

介護保険運営協議会及び運営部会委員名簿

任期：令和3年4月1日～令和6年3月31日

※任期途中での変更があった場合は現任者を掲載

	役員	地域	氏名		所属	選出規定	運営部会
1	会長	一関	寺 崎 公 二	男	一般社団法人一関市医師会 会長	第3条第1項第1号 (保健医療福祉の関係者)	地域密着
2		花泉	吉 原 睦	男	一関歯科医師会 副会長	第3条第1項第1号 (保健医療福祉の関係者)	包括 (部会長)
3		川崎	岩 渕 一 昌	男	両磐ブロック高齢者福祉協議会 会長	第3条第1項第1号 (保健医療福祉の関係者)	地域密着
4		一関	鈴 木 道 明	男	一般社団法人岩手県介護老人 保健施設協会 事務局長	第3条第1項第1号 (保健医療福祉の関係者)	包括
5	副会長	一関	村 上 秀 昭	男	社会福祉法人一関市社会福祉 協議会 介護事業課長	第3条第1項第1号 (保健医療福祉の関係者)	包括
6		一関	佐々木 裕 子	女	一関市民生委員児童委員連絡 協議会 会長	第3条第1項第1号 (保健医療福祉の関係者)	包括
7		平泉町	佐 藤 照 子	女	平泉町民生児童委員協議会 会長	第3条第1項第1号 (保健医療福祉の関係者)	地域密着
8		一関	皆 川 真 琴	男	両磐地区介護支援専門員協議 会 監事	第3条第1項第1号 (保健医療福祉の関係者)	包括 (職務代理者)
9		一関	長 澤 茂	男	一関市医療と介護の連携連絡 会 幹事長	第3条第1項第1号 (保健医療福祉の関係者)	地域密着
10		一関	岩 渕 松 義	男	認知症の人と家族の会岩手県 支部一関地区世話人	第3条第1項第2号 (被保険者)	包括
11		一関	沼 倉 恵 子	女	一関市まちづくりスタッフバ ンク	第3条第1項第2号 (被保険者)	地域密着
12		藤沢	小野寺 健 一	男	一関市行政区長会連絡協議会 会長	第3条第1項第3号 (各種団体等の関係者)	包括
13		一関	佐 藤 清 子	女	一関市老人クラブ連合会 副 会長	第3条第1項第3号 (各種団体等の関係者)	地域密着
14		花泉	佐 藤 みさ子	女	一関市保健推進委員連絡協議 会 副会長	第3条第1項第3号 (各種団体等の関係者)	包括
15		-	木 村 博 史	男	岩手県一関保健所長	第3条第1項第4号 (学識経験者)	地域密着

参考：女性の比率：33% (5/15)

(順不同)

介護保険運営協議会及び運営部会職員

構成市町関係

職名	氏名	備考	運協	運営部会	
				地域密着	包括
介護保険担当参事	佐藤 和子	一関市福祉部長	○		
介護福祉主幹	佐藤 和幸	一関市福祉部次長兼 長寿社会課長	○		○
介護福祉主幹	穂積 千恵子	平泉町保健センター所長	○	○	

一関地区広域行政組合関係

職名	氏名	備考	運協	運営部会	
				地域密着	包括
事務局長	佐藤 正幸		○		
事務局次長兼介護保険課長	千葉 信子		○		○
資格給付係長	里舘 弘美		○	○	
認定調査係長	中村 謙介		○		○
介護保険総務係長	糸数 透		○	○	
介護保険課主任主事	若生 晃央		○	○	
介護保険課主任	鈴木 正志		○		○
一関西部地域包括支援センター所長	高橋 恵		○		○
一関東部地域包括支援センター所長	小野寺 久美		○		○
さくらまち地域包括支援センター管理者	太田 真希子				○
はないずみ地域包括支援センター管理者	小野寺 伸				○
しぶたみ地域包括支援センター管理者	小野寺 理恵				○
ふじさわ地域包括支援センター管理者	小野寺 朝子				○
ひらいずみ地域包括支援センター管理者	千葉 礼子				○

一関地区広域行政組合介護保険運営協議会規則

平成 18 年 4 月 1 日

一関地区広域行政組合規則第 18 号

改正 平成 24 年 3 月 30 日 規則第 4 号

(設置)

第 1 条 この規則は、一関地区広域行政組合介護保険条例（平成 18 年一関地区広域行政組合条例第 27 号）第 3 条の規定により、一関地区広域行政組合介護保険運営協議会（以下「協議会」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第 2 条 協議会の所掌事項は次のとおりとする。

- (1) 介護保険事業計画の策定及び推進に関して審議すること。
- (2) 介護サービスの提供に関して審議すること。
- (3) 介護保険法（平成 9 年法律第 123 号。以下「法」という。）第 42 条の 2 第 5 項に規定する地域密着型介護サービス費の額に関して審議すること。
- (4) 法第 54 条の 2 第 5 項に規定する地域密着型介護予防サービス費の額に関して審議すること。
- (5) 法第 78 条の 2 第 7 項に規定する指定地域密着型サービス事業者の指定等に関して審議すること。
- (6) 法第 78 条の 4 第 5 項に規定する指定地域密着型サービスに従事する従業者に関する基準及び指定地域密着型サービスの事業の設備及び運営に関する基準に関して審議すること。
- (7) 法第 115 条の 12 第 5 項に規定する指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関して審議すること。
- (8) 法第 115 条の 14 第 5 項に規定する指定地域密着型介護予防サービスに従事する従業者に関する基準並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の設備及び運営に関する基準に関して審議すること。
- (9) 法第 115 条の 46 に規定する地域包括支援センターに関して審議すること。
- (10) 前各号に掲げるもののほか、介護保険事業の運営上必要と認める事項に関して審議すること。

(組織)

第 3 条 協議会は、委員 15 人以内をもって組織し、次の各号に掲げる者のうちから管理者が委嘱する。

- (1) 保健医療福祉の関係者
- (2) 法第 9 条に規定する第 1 号被保険者及び第 2 号被保険者

(3) 各種団体等の関係者

(4) 学識経験を有する者

2 委員の任期は、3年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に、会長及び副会長1人を置き、委員の互選とする。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会は、管理者が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会)

第6条 第2条第3号から第9号まで掲げる事項について専門的調査及び研究を行うため、協議会に部会を置く。

2 部会に属する委員は、会長が指名する。

3 部会に部会長を置き、部に属する委員の互選とする。

4 部会長は、部会の事務を掌理し、部会における審議の経過及び結果を会長に報告する。

5 部会長は、必要に応じて部会を招集し、部会の議長となる。

6 部会長に事故があるときは、部会に属する委員のうちから部会長があらかじめ指名する者が、その職務を代理する。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、介護保険課において処理する。

(補則)

第8条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月30日規則第4号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

地域密着型サービス運営部会設置要領

(設置)

第1 一関地区広域行政組合介護保険運営協議会規則（以下「規則」という。）第6条第1項の規定に基づき、規則第2条第3号から第8号までに規定する事項について審議するため、一関地区広域行政組合介護保険運営協議会（以下「協議会という。」）に地域密着型サービス運営部会（以下「運営部会」という。）を設置する。

(運営部会の構成)

第2 運営部会の委員は規則第3条に規定する委員のうちから規則第4条第1項に規定する協議会の会長（以下「会長」という。）が指名する。

2 運営部会に部会長1人を置き、運営部会に属する委員の互選により選出する。

3 部会長に事故あるときは、部会に属する委員のうちから部会長があらかじめ指名する者がその職務を代理する。

(所掌事項)

第3 運営部会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 指定地域密着型サービスに係る事業者の指定に関すること。
- (2) 指定地域密着型サービス指定基準及び介護報酬に関すること。
- (3) 地域密着型サービスの質の確保に関すること。
- (4) 地域密着型サービスの運営の評価に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、地域密着型サービスの運営上必要と認める事項に関すること。

(会議)

第4 運営部会は、部会長が招集する。

2 運営部会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 運営部会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、部会長の決するところによる。

4 部会長は、運営部会における審議の経過及び結果を協議会に報告する。

(意見の聴取)

第5 運営部会は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を聞き、又は資料の提出を求めることができる。

(その他)

第6 この要領に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

(実施期日)

この要領は、平成24年6月27日から実施する。

地域包括支援センター運営部会設置要領

(設置)

第1 一関地区広域行政組合介護保険運営協議会規則（以下「規則」という。）第6条第1項の規定に基づき、規則第2条第9号に規定する事項について審議し、地域包括支援センター（以下「センター」という。）の適切、公正かつ中立な運営を確保するため、一関地区広域行政組合介護保険運営協議会（以下「協議会」という。）に地域包括支援センター運営部会（以下「運営部会」という。）を設置する。

(運営部会の構成)

第2 運営部会の委員は規則第3条に規定する委員のうちから規則第4条第1項に規定する協議会の会長（以下「会長」という。）が指名する。

2 運営部会に部会長1人を置き、運営部会に属する委員の互選により選出する。

3 部会長に事故あるときは、部会に属する委員のうちから部会長があらかじめ指名する者がその職務を代理する。

(所掌事項)

第3 運営部会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) センターの設置等に関すること。
- (2) センターの行う業務に係る方針に関すること。
- (3) センターの運営に関すること。
- (4) センターの職員の確保に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、地域包括ケアに関すること。

(会議)

第4 運営部会は、部会長が招集する。

2 運営部会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 運営部会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、部会長の決するところによる。

4 部会長は、運営部会における審議の経過及び結果を協議会に報告する。

(意見の聴取)

第5 運営部会は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を聞き、又は資料の提出を求めることができる。

(その他)

第6 この要領に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

(実施期日)

この要領は、平成24年6月27日から実施する。

附 則

(実施期日)

この要領は、令和3年4月1日から実施する。

指定地域密着型（介護予防）サービス事業者の廃止について

1 概要

介護保険法(平成9年法律第123号)第78条の5第2項に基づき廃止の届け出があった事業所です。

2 対象事業所

サービスの種類	事業所名 (事業者名)	事業所所在地	登録定員 通所定員	指定 年月日	廃止年月日	廃止事由
看護小規模 多機能型居 宅介護	一関病院ナーシング ケアあさひ (医療法人博愛会)	一関市旭町 1-8	25人 15人	R2.7.1	R5.9.30	経営難

資料No. 2

指定介護予防支援及び第一号介護予防支援事業の一部委託について

介護保険法第115条の23第3項及び第115条の47第5項の規定による委託事業所一覧

No.	指定介護予防支援等の一部を委託しようとする事業所		委託しようとする指定介護予防支援等の内容	指定介護予防支援等の一部を委託しようとする期間	地域包括支援センター						
	名称	所在地			西部	東部	さくらまち	はいなづみ	しぶたみ	ふじさわ	ひらいづみ
5	仁愛会居宅介護支援事業所	真柴字吉ヶ沢20－135	業務委託契約書のとおり	令和5年5月1日～令和6年3月31日				○			
計					24	21	18	12	15	7	5

※ 介護保険法（平成9年法律第123号）

第115条の23第3項 指定介護予防支援事業者は、厚生労働省令で定めるところにより、指定介護予防支援の一部を、厚生労働省令で定める者に委託することができる。

第115条の47第5項 前項の規定により第一号介護予防支援事業の実施の委託を受けた者は、厚生労働省令で定めるところにより、当該委託を受けた事業の一部を、厚生労働省令で定める者に委託することができる。

※ 介護保険法施行規則（平成11年厚生省令第36号）

第140条の36 法第115条の23第3項の厚生労働省令で定める者は、指定居宅介護支援事業者とする。

第140条の71 法律第115条の47第5項の厚生労働省令で定める者は、指定居宅介護支援事業者とする。

※ 一関地区広域行政組合地域包括支援センター業務委託契約書第4条の規定による「地域包括支援センター業務内容等に関する仕様書」

第2(2)エ 指定介護予防支援業務の委託 ① 及び

第2(1)アiv) 介護予防ケアマネジメント業務の委託 ① より

「委託に関し介護保険運営協議会に報告すること」としている。

指定介護予防支援事業所の指定更新について

1 概要

介護保険法(平成9年法律第123号)に基づいて指定した介護保険サービスの事業者は、基準の適合状況を定期的に確認するため、指定の効力に6年間の期限が設けられています。

これにより、事業者は指定日から6年を経過するごとに指定の効力を失うこととなるため、有効期間満了日までに指定の更新を受ける必要があります。

今回指定の更新を行おうとする次の事業所については、これまで重大な基準違反と認められる事項はなく、指定介護予防支援事業の人員基準、設備基準の要件に適合していることを確認しております。

2 対象事業所

- (1) 事業所名 ひらいずみ地域包括支援センター指定介護予防支援事業所
- (2) 運営法人 医療法人 三秋会
- (3) 事業所所在地 西磐井郡平泉町平泉字志羅山8番地8
- (4) 指定期間 令和5年11月1日から令和11年10月31日
(更新前 平成29年11月1日から令和5年10月31日)

3 現地確認日 令和5年10月13日(金)

4 人員等の基準

	基 準	申請の内容	適否
管理者	<p>指定介護予防支援事業者は、指定介護予防支援事業所ごとに常勤の管理者を置かなければならない。</p> <p>管理者は、専らその職務に従事する者でなければならない。ただし、指定介護予防支援事業所の管理に支障がない場合は、当該指定介護予防支援事業所の他の職務に従事し、又は当該指定介護予防支援事業者である地域包括支援センターの職務に従事することができるものとする。</p>	<p>常勤兼務 千葉 礼子 (地域包括支援センター所長との兼務)</p>	適



様式第 4 号（第 4 条関係）

受付番号

1

指定介護予防支援事業所 指定更新申請書

令和 5 年 9 月 14 日

一関地区広域行政組合 管理者 様

所在地 岩手県一関市中央町二丁目 4 番 2 号

申請者 医療法人 三秋会

名称及び代表者名 理事長 長 澤 茂



介護保険法に規定する指定介護予防支援事業所に係る指定更新を受けたいので、下記のとおり関係書類を添えて申請します。

		事業所所在地市町村番号		(0302600028)		
申請者	フリカナ 名称	イリョウホウジン サンシュウカイ 医療法人 三秋会				
	主たる事務所の所在地	(郵便番号 021-0021) 岩手県一関市中央町二丁目 4 番 2 号 (建物の名称等)				
	連絡先	電話番号	0191-21-0613	FAX 番号	0191-21-0677	
	法人の種別	市町村等	医療法人	法人所管庁	岩手県	
	代表者の職・氏名・生年月日	職名	理事長	フリカナ 氏名 カサキ シゲル 長澤 茂	生年月日 [REDACTED]	
	代表者の住所	(郵便番号 [REDACTED]) [REDACTED] (建物の名称等)				
	事業所	フリカナ 名称	ヒライズ ミチイホウカツエンセンターシティカイクホウエンジギョウショ ひらいずみ地域包括支援センター指定介護予防支援事業所			
所在地		(郵便番号 029-4102) 岩手県西磐井郡平泉町平泉字志羅山 8-8				
連絡先		電話番号	0191-34-4601	FAX 番号	0191-34-4602	
当該事業所の所在地以外の場所に当該事業所の一部として使用される事務所を有するとき						
フリカナ 名称		[REDACTED]				
所在地		(郵便番号 -)				
連絡先	電話番号		FAX 番号			
現に受けている指定の有効期間満了日		令和 5 年 10 月 31 日				
誓約書		別添のとおり				
介護支援専門員の氏名及びその登録番号		別添のとおり				

備考 1 「受付番号」「事業所所在地市町村番号」欄には記載しないでください。

2 別添資料については、指定申請時の様式を参照してください。

付表 指定介護予防支援事業所の指定に係る記載事項

受付番号

1

事業所	フリガナ	ヒライズミチイホカツシエンタージイイコヨホウシエンジキョウシヨ				
	名称	ひらいずみ地域包括支援センター指定介護予防支援事業所				
	所在地	(郵便番号 029-4102) 岩手県西磐井郡平泉町平泉字志羅山 8-8				
	連絡先	電話番号	0191-34-4601	FAX 番号	0191-34-4602	
当該事業の実施について定めてある定款・寄附行為等の条文 第4条の2第12号						
管理者	フリガナ	カヘイコ	住所	(郵便番号)		
	氏名	千葉 礼子				
	生年月日					
	指定介護予防支援事業所における他の職務との兼務の有無					有・無
	地域包括支援センターの 従業者との兼務（兼務の場合 合記入）	名称	ひらいずみ地域包括支援センター			
		兼務する職種 及び勤務時間等	8時30分～17時15分 所長（看護師）			
事業開始（更新）時の利用者の推定数 100人						
従業者の職種・員数（人）		担当職員		その他の職員（事務職員等）		
		専従	兼務	専従	兼務	
常勤（人）			3			
非常勤（人）						
主な 掲示 事項	営業日	月曜日～金曜日。ただし、国民の祝日・休日及び12月29日～1月3日を除く。				
	営業時間	8時30分～17時15分				
	利用料	法定代理受領分以外	介護報酬告示上の額			
	その他の費用	平泉町以外の地域に居住する利用者へ訪問するために要する交通費の実費相当額				
	通常の事業実施地域	平泉町全域				
添付書類						

備考

- 1 「受付番号」欄には、記入しないでください。
- 2 記入欄が不足する場合は、適宜欄を設けて記載するか又は別様に記載した書類を添付してください。
- 3 「主な掲示事項」については、本欄の記載を省略し、別添資料として添付して差し支えありません。
- 4 出張所等がある場合、所在地、営業時間等を別様にして記載してください。また、従業者については、本様式に出張所に勤務する職員も含めて記載してください。
- 5 「担当職員」については、指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準（平成18年厚生労働省令第37号）第2条に規定する担当職員の員数を記載してください。

第9期介護保険事業計画の策定について

1 計画の策定について

介護保険事業計画は、介護保険法第117条により3年を一期として策定が義務付けられ、厚生労働大臣が示す介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針（「基本指針」）に即し、介護保険の給付対象となるサービスの種類ごとの量の見込み等を定めるなど、介護保険事業運営の基礎となる事業計画です。

一関地区広域行政組合では、高齢者が要介護状態や認知症となっても、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、介護、医療、生活支援、介護予防等を充実させ、地域全体で高齢者を支え、切れ目なくサービスを提供できる仕組みづくりである、地域包括システムを構築するため、組合が目指すべき基本の方針及びその実現に向けて取り組むべき施策を明らかにするため計画を策定するもので、次期計画は、令和6年度から令和8年度を実施期間として策定します。

本計画は、構成市町の高齢者福祉計画と一体的に策定する必要があることから、一関市、平泉町と連携を密にし、策定作業を進めてまいります。

2 介護保険運営協議会の役割について

介護保険運営協議会は、協議会規則第2条第1項第1号において「介護保険事業計画の策定及び推進に関して審議すること」を所掌事項として規定しており、介護保険事業計画の策定委員会を兼ねております。

3 第9期計画策定に向けた国の基本指針について

- (1) 基本指針について **資料No. 4 ①**

4 現状と課題などについて

- | | |
|---|--------------------|
| (1) 給付費と保険料基準月額の推移等 | 資料No. 4 ② |
| (2) 高齢者と介護をめぐる現状と課題（一関市長寿社会課資料より） | 資料No. 4 ③ |
| (3) 介護予防・日常生活圏域高齢者ニーズ調査及び在宅介護実態調査結果（抜粋） | 資料No. 4 ④ |
| (4) 特別養護老人ホーム入所待機者数の状況 | 資料No. 4 ⑤ |
| (5) 介護予防サービス事業所整備希望調査結果 | 資料No. 4 ⑥-1 |
| 介護労働実態調査集計結果 | 資料No. 4 ⑥-2 |
| (6) 介護保険サービス量等に関する調査 | 資料No. 4 ⑦ |

5 第9期介護保険事業計画策定スケジュールについて

資料No. 4 ⑧

基本的考え方

- 次期計画期間中には、団塊の世代が全員 75 歳以上となる **2025 年を迎える**ことになる。
- また、高齢者人口がピークを迎える **2040 年**を見通すと、**85 歳以上人口が急増し**、医療・介護双方のニーズを有する高齢者など様々なニーズのある **要介護高齢者が増加**する一方、**生産年齢人口が急減**することが見込まれている。
- さらに、**都市部と地方で高齢化の進みが大きく異なる**など、これまで以上に中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込み等を踏まえて介護サービス基盤を整備するとともに、地域の実情に応じて地域包括ケアシステムの深化・推進や介護人材の確保、介護現場の生産性の向上を図るための具体的な **施策や目標を優先順位を検討した上で、介護保険事業（支援）計画に定めることが重要**となる。

見直しのポイント（案）

1. 介護サービス基盤の計画的な整備

- ① 地域の実情に応じたサービス基盤の整備
 - ・ **中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込み等を適切に捉えて**、施設・サービス種別の変更など**既存施設・事業所のあり方も含め検討し**、地域の実情に応じて介護サービス基盤を**計画的に確保**していく必要
 - ・ **医療・介護双方のニーズを有する高齢者の増加を踏まえ**、医療・介護を効率的かつ効果的に提供する体制の確保、**医療・介護の連携強化が重要**
 - ・ 中長期的なサービス需要の見込みを**サービス提供事業者を含め、地域の関係者と共有し、サービス基盤の整備の在り方を議論することが重要**
- ② 在宅サービスの充実
 - ・ 居宅要介護者の在宅生活を支えるための**定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護など地域密着型サービスの更なる普及**
 - ・ 居宅要介護者の様々な介護ニーズに柔軟に対応できるよう、**複合的な在宅サービスの整備を推進することが重要**
 - ・ 居宅要介護者を支えるための、**訪問リハビリテーション等や介護老人保健施設による在宅療養支援の充実**

2. 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組

- ① **地域共生社会の実現**
 - ・ 地域包括ケアシステムは地域共生社会の実現に向けた中核的な基盤となり得るものであり、制度・分野の枠や「支える側」「支えられる側」という関係を超えて、地域住民や多様な主体による介護予防や日常生活支援の取組を促進する観点から、総合事業の充実を推進
 - ・ 地域包括支援センターの業務負担軽減と質の確保、体制整備を図るとともに、重層的支援体制整備事業において属性や世代を問わない包括的な相談支援等を担うことも期待
 - ・ 認知症に関する正しい知識の普及啓発により、認知症への社会の理解を深めることが重要
- ② デジタル技術を活用し、介護事業所間、医療・介護間での連携を円滑に進めるための**医療・介護情報基盤を整備**
- ③ **保険者機能の強化**
 - ・ 給付適正化事業の取組の重点化・内容の充実・見える化

3. 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び介護現場の生産性向上

- ・ **介護人材を確保するため**、処遇の改善、人材育成への支援、職場環境の改善による離職防止、外国人材の受入環境整備などの**取組を総合的に実施**
- ・ **都道府県主導の下で生産性向上に資する様々な支援・施策を総合的に推進**。介護の経営の協働化・大規模化により、人材や資源を有効に活用。
- ・ **介護サービス事業者の財務状況等の見える化を推進**

1

第9期計画において記載を充実する事項（案）

- 第9期の基本指針においては、介護保険部会の「介護保険制度の見直しに関する意見」等を踏まえて、主に以下の事項について記載を充実してはどうか。

1 介護サービス基盤の計画的な整備

- 中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込み等を適切に捉えて、施設・サービス種別の変更など既存施設・事業所のあり方も含め検討し、地域の実情に応じて介護サービス基盤を計画的に確保していく必要性
- 医療・介護を効率的かつ効果的に提供する体制の確保、医療・介護の連携強化
- サービス提供事業者を含め、地域の関係者とサービス基盤の整備の在り方を議論することの重要性
- 居宅要介護者の様々な介護ニーズに柔軟に対応できるよう、複合的な在宅サービスの整備を推進することの重要性
- 居宅要介護者の在宅生活を支える定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護など地域密着型サービスの更なる普及
- 居宅要介護者を支えるための、訪問リハビリテーション等や介護老人保健施設による在宅療養支援の充実

2 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組

- 総合事業の充実化について、第9期計画に集中的に取り組む重要性
- 地域リハビリテーション支援体制の構築の推進
- 認知症高齢者の家族やヤングケアラーを含む家族介護者支援の取組
- 地域包括支援センターの業務負担軽減と質の確保、体制整備等
- 重層的支援体制整備事業などによる障害者福祉や児童福祉など他分野との連携促進
- 認知症施策推進大綱の中間評価を踏まえた施策の推進
- 高齢者虐待防止の一層の推進
- 介護現場の安全性の確保、リスクマネジメントの推進
- 地域共生社会の実現という観点からの住まいと生活の一体的支援の重要性
- 介護事業所間、医療・介護間での連携を円滑に進めるための情報基盤を整備
- 地域包括ケアシステムの構築状況を点検し、結果を第9期計画に反映。国の支援として点検ツールを提供
- 保険者機能強化推進交付金等の実効性を高めるための評価指標等の見直しを踏まえた取組の充実
- 給付適正化事業の取組の重点化・内容の充実・見える化、介護給付費の不合理な地域差の改善と給付適正化の一体的な推進

3 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び介護現場の生産性向上の推進

- ケアマネジメントの質の向上及び人材確保
- ハラスメント対策を含めた働きやすい職場づくりに向けた取組の推進
- 外国人介護人材定着に向けた介護福祉士の国家資格取得支援等の学習環境の整備
- 介護現場の生産性向上に資する様々な支援・施策に総合的に取り組む重要性
- 介護の経営の協働化・大規模化により、サービスの品質を担保しつつ、人材や資源を有効に活用
- 文書負担軽減に向けた具体的な取組（標準様式例の使用の基本原則化、「電子申請・届出システム」利用の原則化）
- 財務状況等の見える化
- 介護認定審査会の簡素化や認定事務の効率化に向けた取組の推進

2

給付費及び保険料基準月額の推移等

1 高齢化率及び給付費の推移

年（年度末時点）	H21	H24	H27	H30	R 1	R 4
総人口（人）	138,337	134,818	129,670	123,951	121,851	115,526
高齢者人口（人）	41,521	41,644	43,532	44,441	44,580	44,337
高齢化率	30.0%	30.9%	33.6%	35.9%	36.6%	38.4%
給付費（百万円）	10,389	11,910	13,358	14,365	14,454	13,674

2 保険料基準月額の推移

介護保険事業計画	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期
	H21～H23	H24～H26	H27～H29	H30～R2	R3～R5
第1号被保険者負担割合	20%	21%	22%	23%	23%
保険料基準月（円）	3,909	4,797	5,191	5,962	6,167
全国平均（円）	4,160	4,972	5,514	5,869	6,014

※第1号被保険者負担割合：給付見込み額に対する負担割合

3 管内人口推計（国立社会保障・人口問題研究所（2018））

年（10/1時点）	2015年 （H27）	2020年 （R2）	2025年 （R7）	2030年 （R12）	2035年 （R17）	2040年 （R22）
総人口（人）	129,451	122,097	114,307	106,481	98,796	90,789
うち0～14歳	14,664	12,823	11,070	9,839	8,613	7,546
うち15～64歳	71,454	63,923	57,808	52,203	47,619	42,038
うち65歳以上	43,333	45,351	45,429	44,439	42,564	41,205
高齢化率	33.5%	37.1%	39.7%	41.7%	43.1%	45.4%

第1回一関市高齢者福祉計画策定委員会資料（R5. 8. 1 一関市長寿社会課作成）より

(4) 一関市の高齢者福祉と介護をめぐる現状と課題について

① 高齢者人口及び高齢化の現状について

1 総人口に占める65歳以上高齢者

(単位: 人、%)

		人口		高齢者数		65～74歳		75歳以上		高齢化率	
一関	R2. 3. 31	56,022	-1,887	17,895	189	8,486	129	9,409	60	31.94	1.46
	R5. 3. 31	54,135	96.63	18,084	101.06	8,615	101.52	9,469	100.64	33.41	
花泉	R2. 3. 31	12,711	-685	4,956	-86	2,296	-17	2,660	-69	38.99	1.51
	R5. 3. 31	12,026	94.61	4,870	98.26	2,279	99.26	2,591	97.41	40.50	
大東	R2. 3. 31	12,955	-1,005	5,630	-96	2,404	24	3,226	-120	43.46	2.85
	R5. 3. 31	11,950	92.24	5,534	98.29	2,428	101.00	3,106	96.28	46.31	
千厩	R2. 3. 31	10,478	-635	4,057	-44	1,790	1	2,267	-45	38.72	2.05
	R5. 3. 31	9,843	93.94	4,013	98.92	1,791	100.06	2,222	98.01	40.77	
東山	R2. 3. 31	6,370	-472	2,554	-82	1,088	-21	1,466	-61	40.09	1.82
	R5. 3. 31	5,898	92.59	2,472	96.79	1,067	98.07	1,405	95.84	41.91	
室根	R2. 3. 31	4,775	-398	2,076	-94	916	-6	1,160	-88	43.48	1.81
	R5. 3. 31	4,377	91.66	1,982	95.47	910	99.34	1,072	92.41	45.28	
川崎	R2. 3. 31	3,496	-254	1,435	-2	617	55	818	-57	41.05	3.15
	R5. 3. 31	3,242	92.73	1,433	99.86	672	108.91	761	93.03	44.20	
藤沢	R2. 3. 31	7,631	-515	3,129	-17	1,409	37	1,720	-54	41.00	2.73
	R5. 3. 31	7,116	93.25	3,112	99.46	1,446	102.63	1,666	96.86	43.73	
計	R2. 3. 31	114,438	-5,851	41,732	-232	19,006	202	22,726	-434	36.47	1.75
	R5. 3. 31	108,587	94.89	41,500	99.44	19,208	101.06	22,292	98.09	38.22	

網掛け部分は上段=比較人数、下段=増減率

- ・ 直近3年間において、人口減少は顕著である一方、高齢者数はほぼ横ばいで推移
- ・ このため、高齢化率は増加となっている

2 5歳区分ごとの人口

(単位: 人)

5歳区分		50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳
人口	R2. 3. 31	6,843	7,718	8,788	10,192	8,814	7,083	6,558
	R5. 3. 31	6,768	7,072	8,194	9,009	10,199	6,884	6,103
	比較	-75	-646	-594	-1,183	1,385	-199	-455

- ・ 一関市においては、団塊の世代(S22～24生)に続き4～5年程度が年齢別人口の割合が高い
- ・ R5. 3. 31現在の一関市における年齢別人口の上位5位が全て70～74歳に入っており、団塊の世代前が大きく少ないため、5歳区分では3年前に比較し年齢層がずれる結果となっている

② 要介護高齢者の現状について

1 ひとり暮らし高齢者と高齢者のみ世帯の全世帯に占める割合

(参考: 令和元年度 ひとり暮らし世帯数4,976世帯、高齢者のみ世帯4,903世帯)

令和4年度在宅高齢者実態調査 (R4. 10. 1現在)

(単位: 世帯(%)、人)

	一関	花泉	大東	千厩	東山	室根	川崎	藤沢	計
全世帯	24,579	4,706	4,931	4,120	2,282	1,776	1,283	2,794	46,471
ひとり暮らし世帯	2,769	566	747	546	279	233	151	301	5,592
高齢者のみ世帯	2,367	528	711	533	286	238	178	402	5,243
一世帯の人員	2.23	2.59	2.46	2.42	2.61	2.51	2.57	2.59	2.37

※ 全世帯数はR4. 10. 1現在

※ 一世帯の人員はR4. 10. 1現在の人口から算出

2 在宅での認知症など介護や支援が必要な高齢者

(参考: 令和元年度 在宅認知症高齢者数713人、日中独居高齢者数550人)

令和4年度在宅高齢者実態調査 (R4. 10. 1現在)

(単位: 人)

	一関	花泉	大東	千厩	東山	室根	川崎	藤沢	計
在宅の認知症高齢者	192	42	51	109	66	40	18	85	603
援護を要する日中独居高齢者	143	65	40	96	41	32	15	55	487

※ 在宅認知症高齢者及び援護を要する日中独居高齢者は共に減少傾向になっているが、一方で、介護保険要介護認定者のうち、認知症高齢者の日常生活自立度がⅡ以上の者(施設入所者含む)と比較すると大きく差異がある。

※ 援護を要する日中独居高齢者数は様々な要因により増減するが、ほぼ横ばいで推移しているものとする。

3 介護高齢者の現状 (R5. 3. 31現在)

(単位: 人、%)

		一関	花泉	大東	千厩	東山	室根	川崎	藤沢	計
要支援 1		519	96	188	135	69	60	34	98	1,199
要支援 2		530	139	179	102	58	61	40	87	1,196
要介護 1		811	204	259	171	120	92	55	130	1,842
要介護 2		757	223	223	153	126	61	65	141	1,749
要介護 3		499	149	176	112	79	68	46	98	1,227
要介護 4		473	172	171	114	69	76	43	97	1,215
要介護 5		432	142	128	104	61	47	29	83	1,026
認定者数		4,021	1,125	1,324	891	582	465	312	734	9,454
高齢者数		18,084	4,870	5,534	4,013	2,472	1,982	1,433	3,112	41,500
認定率		22.24	23.1	23.92	22.2	23.54	23.46	21.77	23.59	22.78
前 年	認定者数	4,145	1,158	1,358	933	607	488	340	782	9,811
	認定率	22.85	23.6	24.2	22.97	24.14	24.07	23.69	24.91	23.45

※ 認定者数: 介護保険で要支援または要介護と認定になった者

※ 認定率: 65歳以上高齢者で介護認定を受けている者の割合

4 特別養護老人ホームへの入所希望者

(参考：令和3年度 入所希望者400人のうち

在宅入所希望者128人、早期入所が必要な者109人)

特別養護老人ホーム入所待機者実態調査(R4. 3. 31現在)

(単位：人)

	一関	花泉	大東	千厩	東山	室根	川崎	藤沢	計
入 所 希 望 者	155	23	49	49	31	30	16	47	400
うち、在宅入所希望者	44	9	14	30	5	11	5	10	128
うち、早期入所が必要な者	35	9	12	26	5	8	5	9	109

③ 主な課題と今後の対応について

■ 各地域の地域づくり計画より（資料No.5 参照）

- 交通手段が少ない、通院・買い物・イベントへの移動支援
 - ⇒ 公共交通体系の見直し、デマンド交通等を活用した交通弱者対策の検討が必要
- 高齢者が活躍できる場、集いの場の確保
 - ⇒ サロンの開催、気軽に集えるカフェの開設、野菜作りなど出来ることで交流の場の確保など、高齢者の居場所づくりが必要
- 一人暮らし高齢者、高齢世帯の増加、一人暮らし世帯への支援体制が不足
 - ⇒ 買い物、ごみ出し、除雪、草刈など高齢者世帯の生活支援、高齢者の見守り体制、一人暮らし高齢者や高齢者世帯への支援など、地域の支え合う体制づくりが必要
- 生活習慣病の増加、予防医療の充実
 - ⇒ 健康づくり教室の開催、健診受診への啓発、介護予防活動の推進が必要
- 医療介護施設が少ない。
 - ⇒ 空き家や空き校舎を活用した福祉施設の整備
- 高齢者の社会参加、雇用の場の確保、ボランティア活動の推進
 - ⇒ 老人クラブの活性化、シルバー人材センターの活用、住民の得意分野を登録する人材バンクの活用など、高齢者が役割を持って活躍できる場の確保が必要
- 高齢者と子どもが交流する機会が少ない。
 - ⇒ 世代間交流の実施、子どもの頃からの福祉教育
- 地域づくりの人材の確保と地域内コミュニティの枠組みづくり
 - ⇒ 高齢者に対するサポートの必要性

■ その他

- 増える認知症高齢者本人と家族をどのように支えるか
 - ⇒ 認知症の正しい理解と知識の普及、本人や家族への支援、地域での見守り体制の構築が必要

- 成年後見制度の利用促進をどう進めるか
 - ⇒ 日常生活自立支援事業や成年後見制度の利用促進を図るとともに関係機関との連携、地域連携ネットワークの構築が必要。
- 介護に携わる人材の不足
 - ⇒ 介護人材の確保、育成等が必要
- 団塊の世代が75歳以上になる2025年（令和7年）を見据えた施策
 - ⇒ 地域全体で高齢者を支え、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目無く提供される「地域包括ケアシステム」の構築を推進していく必要がある。
- 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の整備
 - ⇒ 既存の制度による解決が困難な課題
 - ① 課題の複合化
 - ・ 高齢の親と無職独身の50代の子が同居（8050問題）
 - ・ 介護と育児に同時に直面する世帯（ダブルケア）等
 - ② 制度の狭間の問題
 - ・ いわゆる「ごみ屋敷」問題
 - ・ 障害の疑いがあるが手帳申請を拒否等

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
在宅介護実態調査

調査結果報告書

【抜粋】

令和5年3月

一関地区広域行政組合

目 次

第1章 調査の概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査種類及び対象、方法、期間	1
(3) 調査票の配布・回収数及び回収率	1
(4) 報告書の見方・留意点	2
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果	3
1. 家族や生活状況について	3
(1) 介護・介助の必要性	3
(2) 介護・介助が必要になった主な原因	3
(3) 主な介護者	4
2. からだを動かすことについて	5
(1) 外出の抑制	5
(2) 外出を控えた理由	5
(3) 外出時の移動手段	6
3. 食べることについて	7
(1) 固いものの食べにくさ	7
(2) むせの有無	7
(3) 口の渇き	7
(4) 体重の減少	8
4. 毎日の生活について	8
(1) 物忘れの状況	8
(2) 電話の利用状況	8
(3) 日付の認知状況	9
(4) バスや電車での外出状況	9
(5) 買物の状況	9
(6) 食事用意の状況	10
(7) 請求書の支払い状況	10
(8) 預貯金の管理状況	10
(9) ボランティアのグループ：参加状況	11
(10) スポーツ関係のグループやクラブ：参加状況	11
(11) 趣味関係のグループ：参加状況	12
(12) 学習・教養サークル：参加状況	12
(13) サロンなど介護予防のための通いの場：参加状況	13
(14) 老人クラブ：参加状況	13
(15) 町内会・自治会：参加状況	14

(16)	収入のある仕事：参加状況	14
(17)	活動への参加意向	15
(18)	活動の企画運営への参加意向	15
(19)	日常生活の不便：定期的な通院	16
(20)	日常生活の不便：自宅での医療	16
(21)	日常生活の不便：介護サービス利用の相談窓口	16
(22)	日常生活の不便：在宅サービスの利用	17
(23)	日常生活の不便：施設などに滞在して受けられるサービス	17
(24)	日常生活の不便：外出時の移動手段	17
(25)	日常生活の不便：家屋や庭の維持管理	18
(26)	日常生活の不便：家事全般	18
(27)	日常生活の不便：生活用品の買い物	19
(28)	日常生活の不便：金銭管理	19
(29)	日常生活の不便：冬場の生活	19
(30)	日常生活の不便：地域や友人との交流	20
(31)	日常生活の不便：体力づくり	20
(32)	日常生活の不便：趣味や文化的活動	20
(33)	必要な高齢者のためのサービス	21
5.	たすけあいについて	22
(1)	心配事等を聞いてくれる人	22
(2)	心配事等を聞いてあげる人	23
(3)	看病や世話をしてくれる人	23
(4)	看病や世話をしてあげる人	24
(5)	相談する相手	24
(6)	友人・知人と会う頻度	25
(7)	友人・知人と会った回数	25
(8)	よく会う友人・知人との関係性	25
6.	健康について	26
(1)	現在の健康状態	26
(2)	現在の幸福度	27
(3)	ゆううつ感	27
(4)	病気	28
7.	認知症について	29
(1)	認知症の発症状況	29
(2)	認知症相談窓口の周知度	29
(3)	認知症地域支援推進員の周知度	29
(4)	認知症ケアパスの周知度	30
(5)	認知症が気になり始めたときの最初の相談先	30

(6) 認知症になった時の心配事	31
(7) 地域の協力の必要性	31
(8) 必要とする地域の協力	32
(9) 成年後見制度の周知度	32
(10) 身元保証人の有無	33
8. 生活機能評価	34
(1) 生活機能評価の判定基準	34
(2) 生活機能評価の判定結果	36
第3章 在宅介護実態調査結果	39
1. 調査対象者の属性	39
(1) 年齢	39
(2) 要介護度	40
(3) 日常生活圏域	40
2. 集計・分析	41
(1) 世帯類型	41
(2) 家族や親族からの介護の状況	42
(3) 主な介護者	43
(4) 主な介護者の年齢	43
(5) 主な介護者から受けている介護等	44
(6) 介護を理由とした退職の有無	45
(7) 利用している「介護保険サービス以外」の支援	46
(8) 在宅生活の継続に必要な支援	47
(9) 施設等への入所・入居の検討状況	47
(10) 現在の傷病	48
(11) 訪問診療の利用状況	49
(12) 介護保険サービスの利用状況	49
(13) 介護保険サービスを利用していない理由	50
(14) 主な介護者の勤務形態	51
(15) 介護者の働き方の調整	51
(16) 仕事と介護の両立のために必要な勤務先からの支援	52
(17) 働きながらの介護継続	53
(18) 働きながら介護を続けることが難しい理由	54
(19) 不安に感じる介護等	54

第 1 章 調査の概要

(1) 調査目的

高齢者の日常生活や介護の実態等を把握することにより、介護保険事業計画策定の基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 調査種類及び対象、方法、期間

調査種類	対象	方法	期間
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	一般高齢者、事業対象者、要支援者	郵送による配布・回収	令和 4 年 11 月 15 日から 12 月 28 日
在宅介護実態調査	要支援者、要介護者	郵送による配布・回収	令和 4 年 11 月 15 日から 12 月 28 日

※対象者は、令和 4 年 10 月 1 日現在 65 歳以上の高齢者を年齢、男女比、生活圏域ごとに考慮し、層化無作為抽出法により抽出した。

(3) 調査票の配布・回収数及び回収率

調査種類	配布数	回収数	回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	5,000 件	3,699 件	74.0%
在宅介護実態調査	1,000 件	735 件	73.5%

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査圏域別配布・回収の結果

圏域	配布数	回収数	回収率
一関 1（一関、真滝、舞川、弥栄）圏域	997 件	746 件	74.8%
一関 2（山目、中里、厳美、萩荘）圏域	1,046 件	788 件	75.3%
花泉圏域	538 件	388 件	72.1%
大東圏域	620 件	443 件	71.5%
千厩圏域	485 件	368 件	75.9%
東山圏域	247 件	197 件	79.8%
宝根圏域	227 件	168 件	74.0%
川崎圏域	162 件	120 件	74.1%
藤沢圏域	352 件	251 件	71.3%
平泉圏域	326 件	227 件	69.6%

②在宅介護実態調査圏域別配布・回収の結果

圏域	配布数	回収数	回収率
一関1（一関、真滝、舞川、弥栄）圏域	195 件	150 件	76.9%
一関2（山目、中里、厳美、萩荘）圏域	203 件	152 件	74.9%
花泉圏域	109 件	77 件	70.6%
大東圏域	127 件	98 件	77.2%
千厩圏域	92 件	59 件	64.1%
東山圏域	63 件	48 件	76.2%
宝根圏域	46 件	37 件	80.4%
川崎圏域	38 件	28 件	73.7%
藤沢圏域	72 件	52 件	72.2%
平泉圏域	55 件	34 件	61.8%

（４）報告書の見方・留意点

○図表の数値（％）は、すべて小数点以下第２位を四捨五入して表示しています。そのため、単数回答を求めた設問でも、比率の合計が 100%にならない場合があります。

○複数回答を求めた設問では、比率の合計が 100%を超えます。

○表・グラフに付加されている「N」は質問に対する回答者数を表しています。

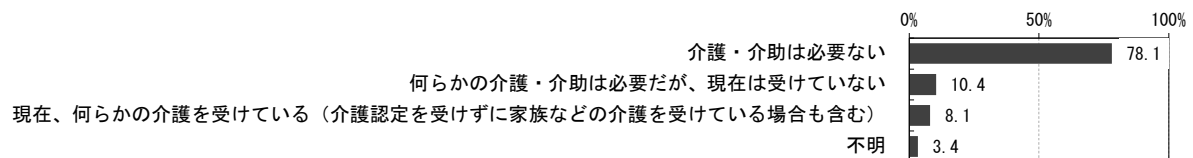
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

1. 家族や生活状況について

(1) 介護・介助の必要性

あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 介護・介助は必要ない	2890	78.1
2 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	383	10.4
3 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）	300	8.1
不明	126	3.4
全体	3699	100.0

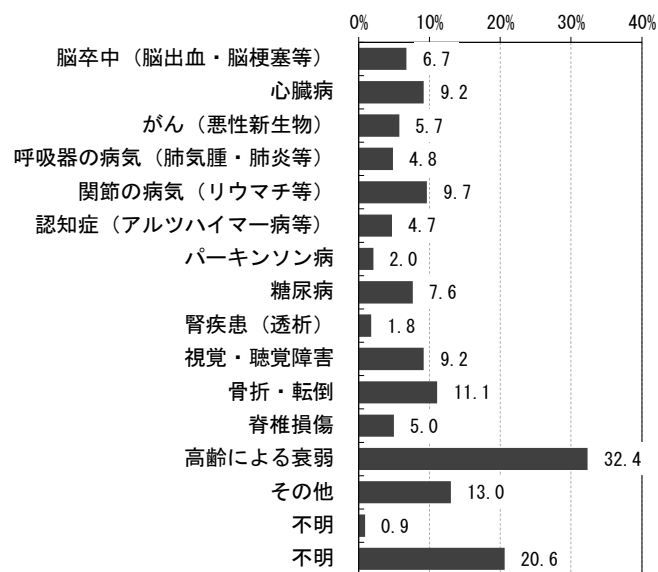


「介護・介助は必要ない」が 78.1%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(10.4%)と「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」(8.1%)となっています。

(2) 介護・介助が必要になった主な原因

介護・介助が必要になった主な原因はなんですか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	46	6.7
2 心臓病	63	9.2
3 がん（悪性新生物）	39	5.7
4 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	33	4.8
5 関節の病気（リウマチ等）	66	9.7
6 認知症（アルツハイマー病等）	32	4.7
7 パーキンソン病	14	2.0
8 糖尿病	52	7.6
9 腎疾患（透析）	12	1.8
10 視覚・聴覚障害	63	9.2
11 骨折・転倒	76	11.1
12 脊椎損傷	34	5.0
13 高齢による衰弱	221	32.4
14 その他	89	13.0
15 不明	6	0.9
不明	141	20.6
非該当	3016	

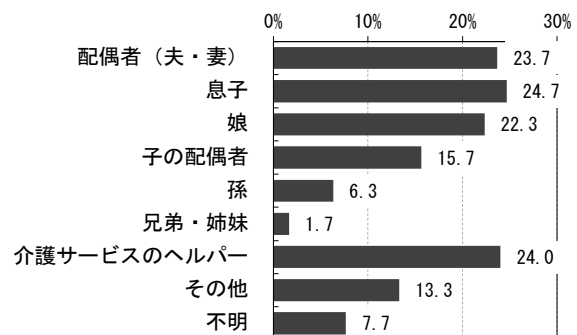


「高齢による衰弱」が 32.4%で最も多く、次いで「その他」(13.0%)と「骨折・転倒」(11.1%)となっています。

（３）主な介護者

主にどなたの介護・介助を受けていますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 配偶者（夫・妻）	71	23.7
2 息子	74	24.7
3 娘	67	22.3
4 子の配偶者	47	15.7
5 孫	19	6.3
6 兄弟・姉妹	5	1.7
7 介護サービスのヘルパー	72	24.0
8 その他	40	13.3
不明	23	7.7
非該当	3399	



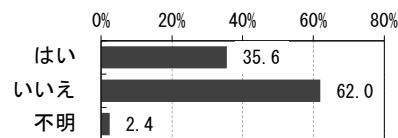
「息子」が 24.7%で最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」(24.0%)と「配偶者（夫・妻）」(23.7%)となっています。

2. からだを動かすことについて

(1) 外出の抑制

外出を控えていますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 はい	1316	35.6
2 いいえ	2293	62.0
不明	90	2.4
全体	3699	100.0

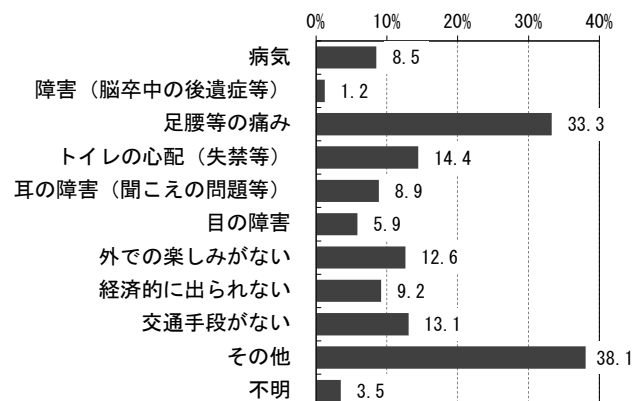


「いいえ」が62.0%、「はい」が35.6%となっています。

(2) 外出を控えた理由

外出を控えている理由は何ですか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 病気	112	8.5
2 障害（脳卒中の後遺症等）	16	1.2
3 足腰等の痛み	438	33.3
4 トイレの心配（失禁等）	190	14.4
5 耳の障害（聞こえの問題等）	117	8.9
6 目の障害	77	5.9
7 外での楽しみがない	166	12.6
8 経済的に出られない	121	9.2
9 交通手段がない	172	13.1
10 その他	501	38.1
不明	46	3.5
非該当	2383	

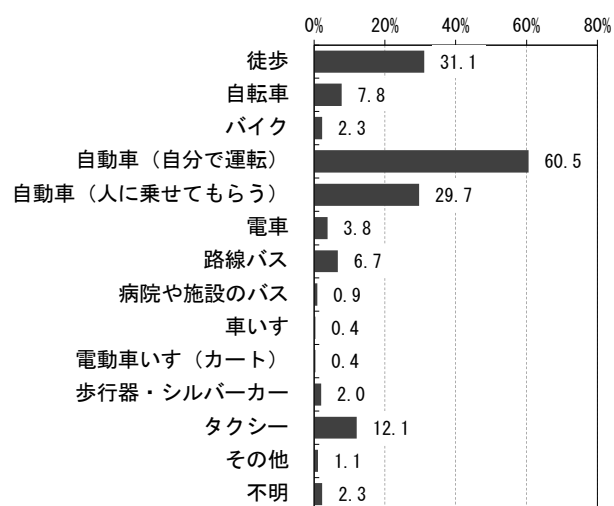


「その他」が38.1%で最も多く、次いで「足腰等の痛み」(33.3%)と「トイレの心配（失禁等）」(14.4%)となっています。

(3) 外出時の移動手段

外出する際の移動手段は何ですか

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	徒歩	1150	31.1
2	自転車	287	7.8
3	バイク	84	2.3
4	自動車（自分で運転）	2239	60.5
5	自動車（人に乗せてもらう）	1098	29.7
6	電車	140	3.8
7	路線バス	249	6.7
8	病院や施設のバス	34	0.9
9	車いす	13	0.4
10	電動車いす（カート）	14	0.4
11	歩行器・シルバーカー	74	2.0
12	タクシー	447	12.1
13	その他	40	1.1
	不明	86	2.3
	全体	3699	100.0



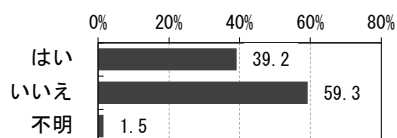
「自動車（自分で運転）」が60.5%で最も多く、次いで「徒歩」(31.1%)と「自動車（人に乗せてもらう）」(29.7%)となっています。

3. 食べることについて

(1) 固いものの食べにくさ

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 はい	1449	39.2
2 いいえ	2193	59.3
不明	57	1.5
全体	3699	100.0

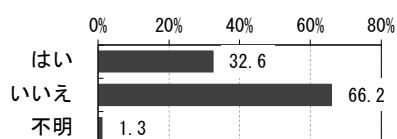


「いいえ」が59.3%、「はい」が39.2%となっています。

(2) むせの有無

お茶や汁物等でむせることがありますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 はい	1205	32.6
2 いいえ	2447	66.2
不明	47	1.3
全体	3699	100.0

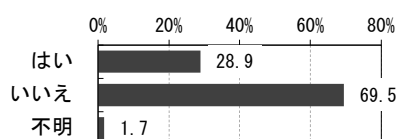


「いいえ」が66.2%、「はい」が32.6%となっています。

(3) 口の渇き

口の渇きが気になりますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 はい	1068	28.9
2 いいえ	2569	69.5
不明	62	1.7
全体	3699	100.0

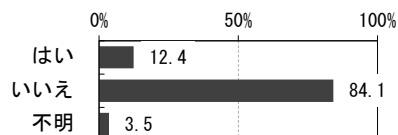


「いいえ」が69.5%、「はい」が28.9%となっています。

(4) 体重の減少

6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 はい	458	12.4
2 いいえ	3111	84.1
不明	130	3.5
全体	3699	100.0



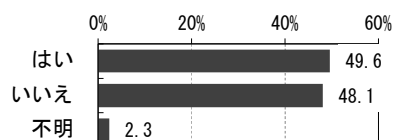
「いいえ」が84.1%、「はい」が12.4%となっています。

4. 毎日の生活について

(1) 物忘れの状況

物忘れが多いと感じますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 はい	1834	49.6
2 いいえ	1779	48.1
不明	86	2.3
全体	3699	100.0

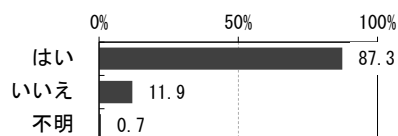


「はい」が49.6%、「いいえ」が48.1%となっています。

(2) 電話の利用状況

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 はい	3231	87.3
2 いいえ	442	11.9
不明	26	0.7
全体	3699	100.0

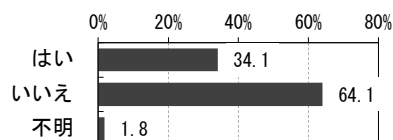


「はい」が87.3%、「いいえ」が11.9%となっています。

(3) 日付の認知状況

今日が何月何日かわからない時がありますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 はい	1262	34.1
2 いいえ	2370	64.1
不明	67	1.8
全体	3699	100.0

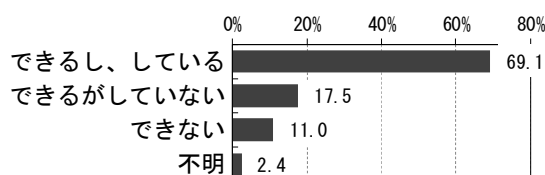


「いいえ」が64.1%、「はい」が34.1%となっています。

(4) バスや電車での外出状況

バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 できるし、している	2556	69.1
2 できるがしていない	647	17.5
3 できない	406	11.0
不明	90	2.4
全体	3699	100.0

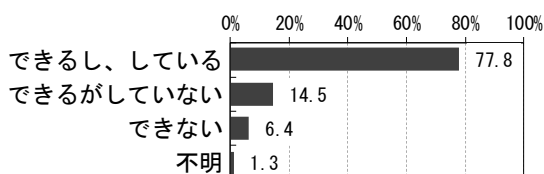


「できるし、している」が69.1%で最も多く、次いで「できるがしていない」(17.5%)と「できない」(11.0%)となっています。

(5) 買物の状況

自分で食品・日用品の買物をしていますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 できるし、している	2878	77.8
2 できるがしていない	536	14.5
3 できない	236	6.4
不明	49	1.3
全体	3699	100.0

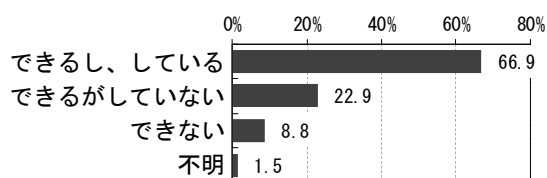


「できるし、している」が77.8%で最も多く、次いで「できるがしていない」(14.5%)と「できない」(6.4%)となっています。

(6) 食事用意の状況

自分で食事の用意をしていますか

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	できるし、している	2473	66.9
2	できるがしていない	846	22.9
3	できない	325	8.8
	不明	55	1.5
	全体	3699	100.0

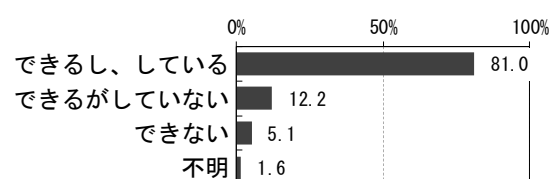


「できるし、している」が 66.9%で最も多く、次いで「できるがしていない」(22.9%)と「できない」(8.8%)となっています。

(7) 請求書の支払い状況

自分で請求書の支払いをしていますか

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	できるし、している	2997	81.0
2	できるがしていない	451	12.2
3	できない	190	5.1
	不明	61	1.6
	全体	3699	100.0

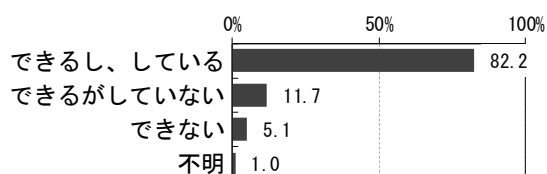


「できるし、している」が 81.0%で最も多く、次いで「できるがしていない」(12.2%)と「できない」(5.1%)となっています。

(8) 預貯金の管理状況

自分で預貯金の出し入れをしていますか

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	できるし、している	3042	82.2
2	できるがしていない	432	11.7
3	できない	188	5.1
	不明	37	1.0
	全体	3699	100.0

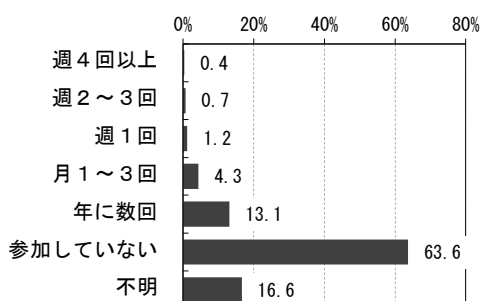


「できるし、している」が 82.2%で最も多く、次いで「できるがしていない」(11.7%)と「できない」(5.1%)となっています。

(9) ボランティアのグループ：参加状況

ボランティアのグループ（参加頻度）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 週4回以上	14	0.4
2 週2～3回	27	0.7
3 週1回	45	1.2
4 月1～3回	160	4.3
5 年に数回	485	13.1
6 参加していない	2354	63.6
不明	614	16.6
全体	3699	100.0

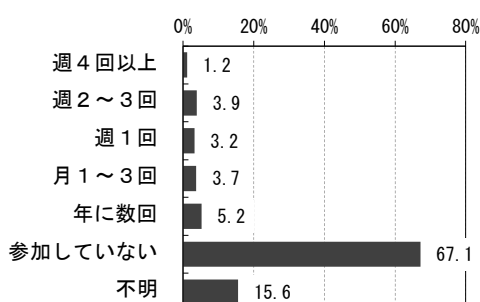


「参加していない」が63.6%で最も多く、次いで「年に数回」(13.1%)と「月1～3回」(4.3%)となっています。

(10) スポーツ関係のグループやクラブ：参加状況

スポーツ関係のグループやクラブ（参加頻度）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 週4回以上	43	1.2
2 週2～3回	144	3.9
3 週1回	120	3.2
4 月1～3回	138	3.7
5 年に数回	194	5.2
6 参加していない	2483	67.1
不明	577	15.6
全体	3699	100.0

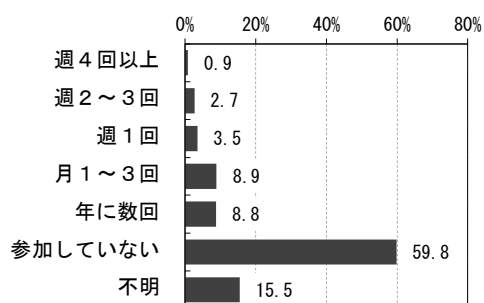


「参加していない」が67.1%で最も多く、次いで「年に数回」(5.2%)と「週2～3回」(3.9%)となっています。

(1 1) 趣味関係のグループ：参加状況

趣味関係のグループ（参加頻度）

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	週4回以上	32	0.9
2	週2～3回	100	2.7
3	週1回	130	3.5
4	月1～3回	329	8.9
5	年に数回	324	8.8
6	参加していない	2212	59.8
	不明	572	15.5
	全体	3699	100.0

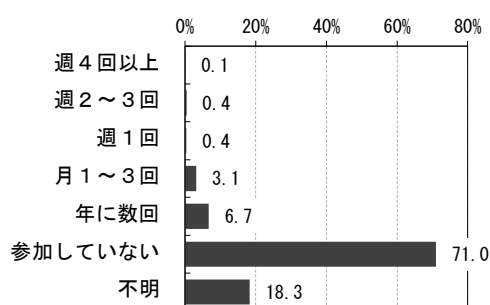


「参加していない」が 59.8%で最も多く、次いで「月1～3回」(8.9%)と「年に数回」(8.8%)となっています。

(1 2) 学習・教養サークル：参加状況

学習・教養サークル（参加頻度）

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	週4回以上	4	0.1
2	週2～3回	16	0.4
3	週1回	14	0.4
4	月1～3回	116	3.1
5	年に数回	248	6.7
6	参加していない	2625	71.0
	不明	676	18.3
	全体	3699	100.0

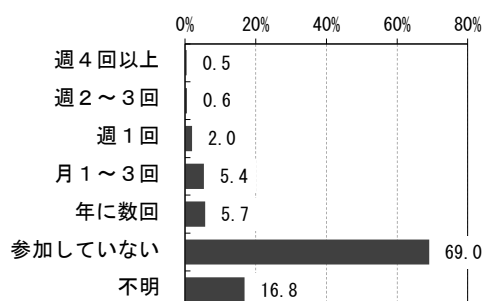


「参加していない」が 71.0%で最も多く、次いで「年に数回」(6.7%)と「月1～3回」(3.1%)となっています。

(13) サロンなど介護予防のための通いの場：参加状況

サロンなど介護予防のための通いの場（参加頻度）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 週4回以上	18	0.5
2 週2～3回	21	0.6
3 週1回	74	2.0
4 月1～3回	199	5.4
5 年に数回	211	5.7
6 参加していない	2553	69.0
不明	623	16.8
全体	3699	100.0

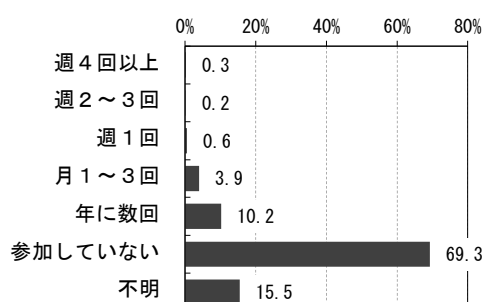


「参加していない」が 69.0%で最も多く、次いで「年に数回」(5.7%)と「月1～3回」(5.4%)となっています。

(14) 老人クラブ：参加状況

老人クラブ（参加頻度）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 週4回以上	10	0.3
2 週2～3回	8	0.2
3 週1回	22	0.6
4 月1～3回	146	3.9
5 年に数回	379	10.2
6 参加していない	2562	69.3
不明	572	15.5
全体	3699	100.0

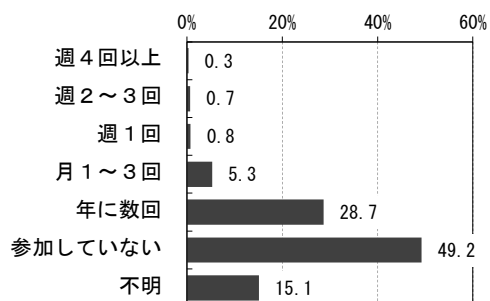


「参加していない」が 69.3%で最も多く、次いで「年に数回」(10.2%)と「月1～3回」(3.9%)となっています。

(15) 町内会・自治会：参加状況

町内会・自治会（参加頻度）

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	週4回以上	12	0.3
2	週2～3回	25	0.7
3	週1回	28	0.8
4	月1～3回	195	5.3
5	年に数回	1060	28.7
6	参加していない	1820	49.2
	不明	559	15.1
	全体	3699	100.0

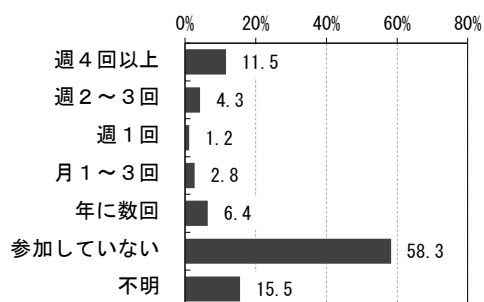


「参加していない」が49.2%で最も多く、次いで「年に数回」(28.7%)と「月1～3回」(5.3%)となっています。

(16) 収入のある仕事：参加状況

収入のある仕事（参加頻度）

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	週4回以上	427	11.5
2	週2～3回	159	4.3
3	週1回	44	1.2
4	月1～3回	102	2.8
5	年に数回	237	6.4
6	参加していない	2155	58.3
	不明	575	15.5
	全体	3699	100.0

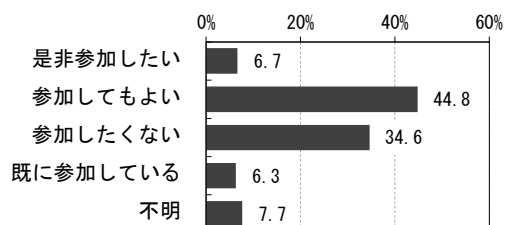


「参加していない」が58.3%で最も多く、次いで「週4回以上」(11.5%)と「年に数回」(6.4%)となっています。

（１７）活動への参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 是非参加したい	246	6.7
2 参加してもよい	1657	44.8
3 参加したくない	1280	34.6
4 既に参加している	233	6.3
不明	283	7.7
全体	3699	100.0

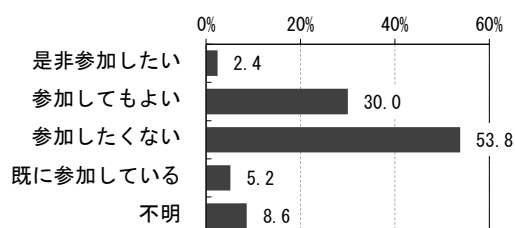


「参加してもよい」が 44.8%で最も多く、次いで「参加したくない」(34.6%)と「是非参加したい」(6.7%)となっています。

（１８）活動の企画運営への参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 是非参加したい	89	2.4
2 参加してもよい	1110	30.0
3 参加したくない	1991	53.8
4 既に参加している	191	5.2
不明	318	8.6
全体	3699	100.0

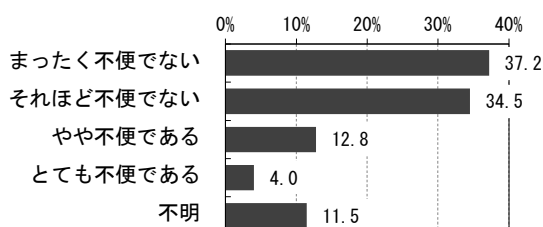


「参加したくない」が 53.8%で最も多く、次いで「参加してもよい」(30.0%)と「既に参加している」(5.2%)となっています。

(19) 日常生活の不便：定期的な通院

持病による定期的な通院（不便さ）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 まったく不便でない	1377	37.2
2 それほど不便でない	1277	34.5
3 やや不便である	472	12.8
4 とても不便である	149	4.0
不明	424	11.5
全体	3699	100.0

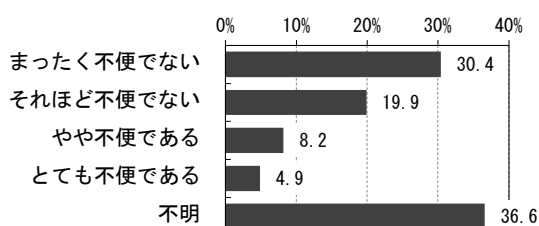


「まったく不便でない」が 37.2%で最も多く、次いで「それほど不便でない」(34.5%)と「やや不便である」(12.8%)となっています。

(20) 日常生活の不便：自宅での医療

自宅での医療（往診や訪問介護など）（不便さ）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 まったく不便でない	1125	30.4
2 それほど不便でない	737	19.9
3 やや不便である	302	8.2
4 とても不便である	181	4.9
不明	1354	36.6
全体	3699	100.0

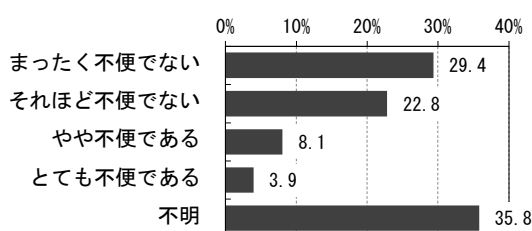


「まったく不便でない」が 30.4%で最も多く、次いで「それほど不便でない」(19.9%)と「やや不便である」(8.2%)となっています。

(21) 日常生活の不便：介護サービス利用の相談窓口

介護サービス利用に当たっての相談窓口（不便さ）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 まったく不便でない	1086	29.4
2 それほど不便でない	844	22.8
3 やや不便である	298	8.1
4 とても不便である	146	3.9
不明	1325	35.8
全体	3699	100.0

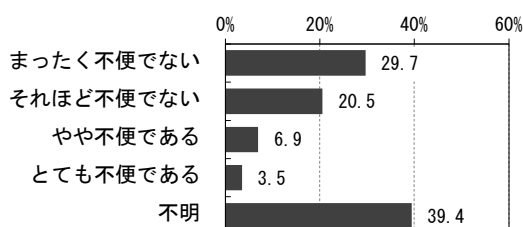


「まったく不便でない」が 29.4%で最も多く、次いで「それほど不便でない」(22.8%)と「やや不便である」(8.1%)となっています。

(22) 日常生活の不便：在宅サービスの利用

ホームヘルプ等の在宅サービスの利用（不便さ）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 まったく不便でない	1097	29.7
2 それほど不便でない	760	20.5
3 やや不便である	255	6.9
4 とても不便である	129	3.5
不明	1458	39.4
全体	3699	100.0

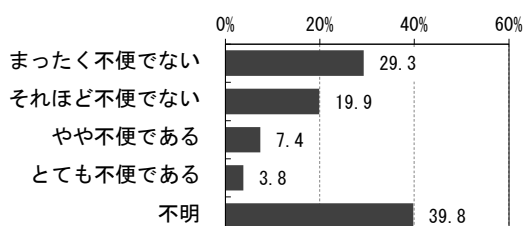


「まったく不便でない」が 29.7%で最も多く、次いで「それほど不便でない」(20.5%)と「やや不便である」(6.9%)となっています。

(23) 日常生活の不便：施設などに滞在して受けられるサービス

一定期間施設などに滞在して介護が受けられるサービスの利用（不便さ）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 まったく不便でない	1082	29.3
2 それほど不便でない	735	19.9
3 やや不便である	272	7.4
4 とても不便である	139	3.8
不明	1471	39.8
全体	3699	100.0

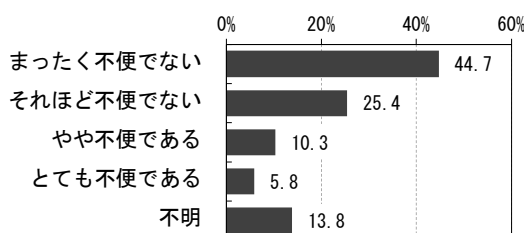


「まったく不便でない」が 29.3%で最も多く、次いで「それほど不便でない」(19.9%)と「やや不便である」(7.4%)となっています。

(24) 日常生活の不便：外出時の移動手段

外出時の移動手段（不便さ）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 まったく不便でない	1653	44.7
2 それほど不便でない	940	25.4
3 やや不便である	380	10.3
4 とても不便である	216	5.8
不明	510	13.8
全体	3699	100.0

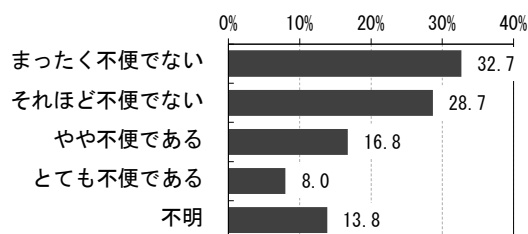


「まったく不便でない」が 44.7%で最も多く、次いで「それほど不便でない」(25.4%)と「やや不便である」(10.3%)となっています。

（２５）日常生活の不便：家屋や庭の維持管理

家屋や庭の維持管理（不便さ）

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	まったく不便でない	1210	32.7
2	それほど不便でない	1061	28.7
3	やや不便である	620	16.8
4	とても不便である	296	8.0
	不明	512	13.8
	全体	3699	100.0

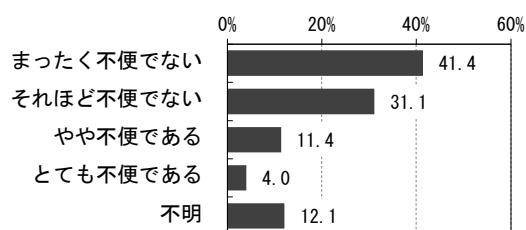


「まったく不便でない」が 32.7%で最も多く、次いで「それほど不便でない」(28.7%)と「やや不便である」(16.8%)となっています。

（２６）日常生活の不便：家事全般

炊事・洗濯・掃除などの家事全般（不便さ）

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	まったく不便でない	1532	41.4
2	それほど不便でない	1151	31.1
3	やや不便である	421	11.4
4	とても不便である	148	4.0
	不明	447	12.1
	全体	3699	100.0

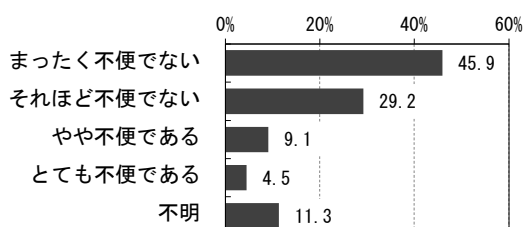


「まったく不便でない」が 41.4%で最も多く、次いで「それほど不便でない」(31.1%)と「やや不便である」(11.4%)となっています。

（２７）日常生活の不便：生活用品の買い物

生活用品の買い物（不便さ）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 まったく不便でない	1699	45.9
2 それほど不便でない	1079	29.2
3 やや不便である	336	9.1
4 とても不便である	166	4.5
不明	419	11.3
全体	3699	100.0

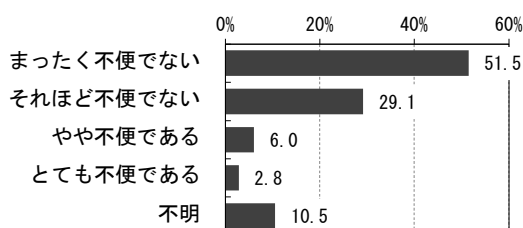


「まったく不便でない」が 45.9%で最も多く、次いで「それほど不便でない」(29.2%)と「やや不便である」(9.1%)となっています。

（２８）日常生活の不便：金銭管理

年金の受取、料金の支払い等の金銭管理（不便さ）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 まったく不便でない	1905	51.5
2 それほど不便でない	1078	29.1
3 やや不便である	223	6.0
4 とても不便である	104	2.8
不明	389	10.5
全体	3699	100.0

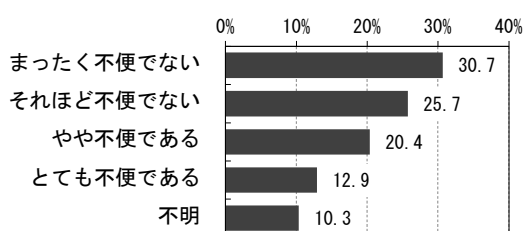


「まったく不便でない」が 51.5%で最も多く、次いで「それほど不便でない」(29.1%)と「やや不便である」(6.0%)となっています。

（２９）日常生活の不便：冬場の生活

冬場の生活（雪かき、灯油購入など）（不便さ）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 まったく不便でない	1134	30.7
2 それほど不便でない	952	25.7
3 やや不便である	753	20.4
4 とても不便である	478	12.9
不明	382	10.3
全体	3699	100.0

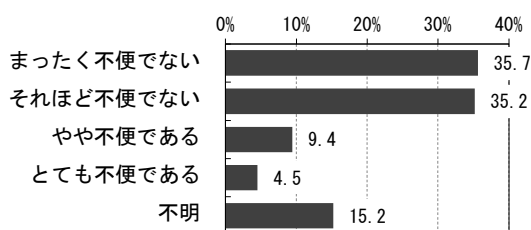


「まったく不便でない」が 30.7%で最も多く、「それほど不便でない」(25.7%)と「やや不便である」(20.4%)となっています。

（３０）日常生活の不便：地域や友人との交流

地域の人々や友人との交流（不便さ）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 まったく不便でない	1319	35.7
2 それほど不便でない	1301	35.2
3 やや不便である	349	9.4
4 とても不便である	167	4.5
不明	563	15.2
全体	3699	100.0

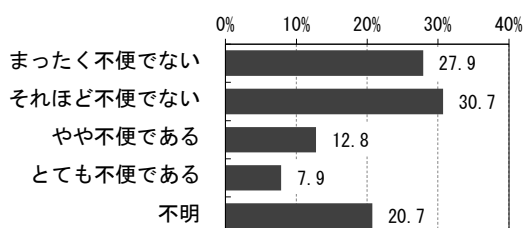


「まったく不便でない」が 35.7%で最も多く、次いで「それほど不便でない」(35.2%)と「やや不便である」(9.4%)となっています。

（３１）日常生活の不便：体力づくり

スポーツや体操による体力づくり（不便さ）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 まったく不便でない	1032	27.9
2 それほど不便でない	1136	30.7
3 やや不便である	473	12.8
4 とても不便である	291	7.9
不明	767	20.7
全体	3699	100.0

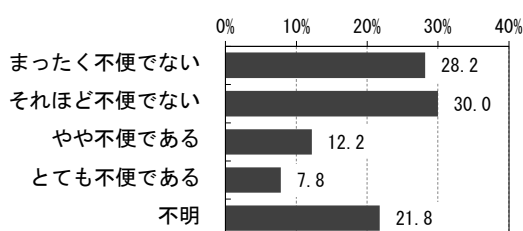


「それほど不便でない」が 30.7%で最も多く、次いで「まったく不便でない」(27.9%)と「やや不便である」(12.8%)となっています。

（３２）日常生活の不便：趣味や文化的活動

趣味や文化的活動の場（不便さ）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 まったく不便でない	1043	28.2
2 それほど不便でない	1110	30.0
3 やや不便である	451	12.2
4 とても不便である	289	7.8
不明	806	21.8
全体	3699	100.0

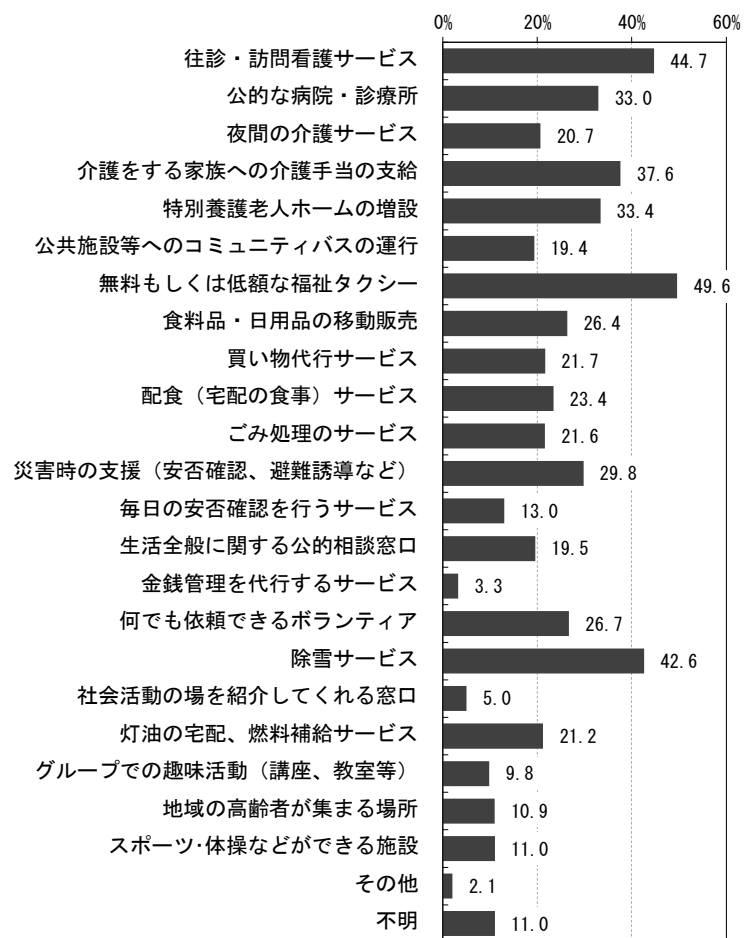


「それほど不便でない」が 30.0%で最も多く、次いで「まったく不便でない」(28.2%)と「やや不便である」(12.2%)となっています。

(33) 必要な高齢者のためのサービス

あなたが今後、この地域で生活をするとしたら、どのような高齢者のためのサービスや施設などが必要になると思うか、以下の項目から、特に必要性を感じるものを教えてください

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	往診・訪問看護サービス	1654	44.7
2	公的な病院・診療所	1219	33.0
3	夜間の介護サービス	765	20.7
4	介護をする家族への介護手当の支給	1392	37.6
5	特別養護老人ホームの増設	1235	33.4
6	公共施設等へのコミュニティバスの運行	716	19.4
7	無料もしくは低額な福祉タクシー	1835	49.6
8	食料品・日用品の移動販売	975	26.4
9	買い物代行サービス	801	21.7
10	配食（宅配の食事）サービス	866	23.4
11	ごみ処理のサービス	800	21.6
12	災害時の支援（安否確認、避難誘導など）	1102	29.8
13	毎日の安否確認を行うサービス	482	13.0
14	生活全般に関する公的相談窓口	723	19.5
15	金銭管理を代行するサービス	121	3.3
16	何でも依頼できるボランティア	988	26.7
17	除雪サービス	1575	42.6
18	社会活動の場を紹介してくれる窓口	185	5.0
19	灯油の宅配、燃料補給サービス	785	21.2
20	グループでの趣味活動（講座、教室等）	364	9.8
21	地域の高齢者が集まる場所	405	10.9
22	スポーツ・体操などができる施設	408	11.0
23	その他	76	2.1
	不明	407	11.0
	全体	3699	100.0



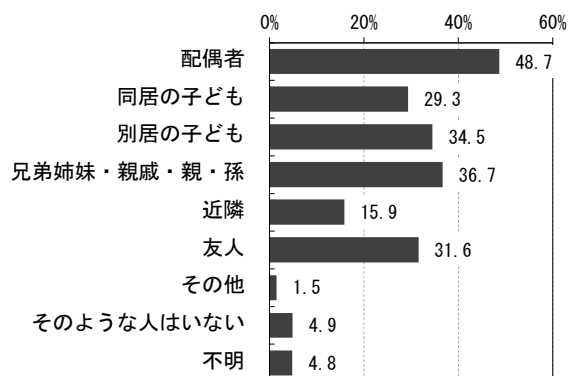
「無料もしくは低額な福祉タクシー」が 49.6%で最も多く、次いで「往診・訪問看護サービス」(44.7%)と「除雪サービス」(42.6%)となっています。

5. たすけあいについて

（１）心配事等を聞いてくれる人

あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 配偶者	1800	48.7
2 同居の子ども	1085	29.3
3 別居の子ども	1277	34.5
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	1358	36.7
5 近隣	587	15.9
6 友人	1168	31.6
7 その他	55	1.5
8 そのような人はいない	181	4.9
不明	178	4.8
全体	3699	100.0

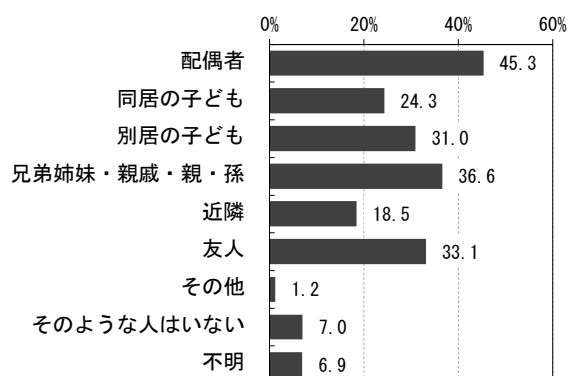


「配偶者」が 48.7%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(36.7%)と「別居の子ども」(34.5%)となっています。

(2) 心配事等を聞いてあげる人

あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 配偶者	1677	45.3
2 同居の子ども	900	24.3
3 別居の子ども	1145	31.0
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	1354	36.6
5 近隣	683	18.5
6 友人	1226	33.1
7 その他	46	1.2
8 そのような人はいない	258	7.0
不明	257	6.9
全体	3699	100.0

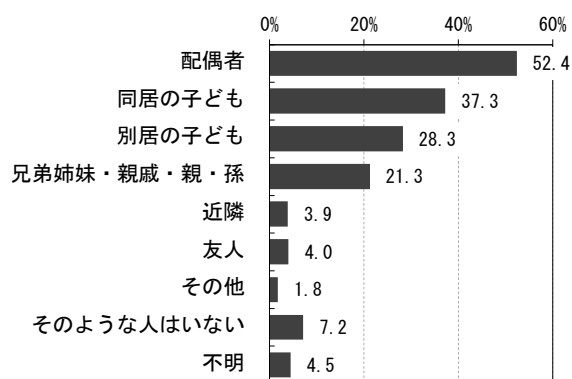


「配偶者」が 45.3%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(36.6%)と「友人」(33.1%)となっています。

(3) 看病や世話をしてくれる人

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 配偶者	1938	52.4
2 同居の子ども	1378	37.3
3 別居の子ども	1046	28.3
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	787	21.3
5 近隣	143	3.9
6 友人	148	4.0
7 その他	65	1.8
8 そのような人はいない	265	7.2
不明	167	4.5
全体	3699	100.0

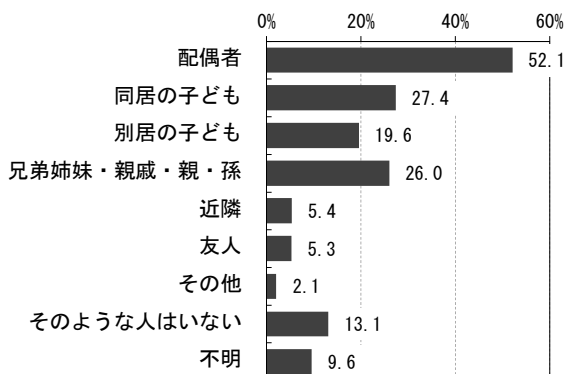


「配偶者」が 52.4%で最も多く、次いで「同居の子ども」(37.3%)と「別居の子ども」(28.3%)となっています。

(4) 看病や世話をしあける人

あなたが看病や世話をしあける人

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 配偶者	1929	52.1
2 同居の子ども	1013	27.4
3 別居の子ども	724	19.6
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	963	26.0
5 近隣	198	5.4
6 友人	197	5.3
7 その他	77	2.1
8 そのような人はいない	485	13.1
不明	355	9.6
全体	3699	100.0

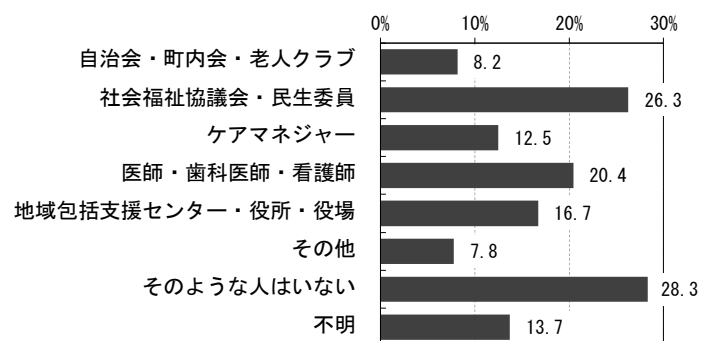


「配偶者」が 52.1%で最も多く、次いで「同居の子ども」(27.4%)と「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(26.0%)となっています。

(5) 相談する相手

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 自治会・町内会・老人クラブ	302	8.2
2 社会福祉協議会・民生委員	972	26.3
3 ケアマネジャー	462	12.5
4 医師・歯科医師・看護師	756	20.4
5 地域包括支援センター・役所・役場	618	16.7
6 その他	287	7.8
7 そのような人はいない	1048	28.3
不明	507	13.7
全体	3699	100.0

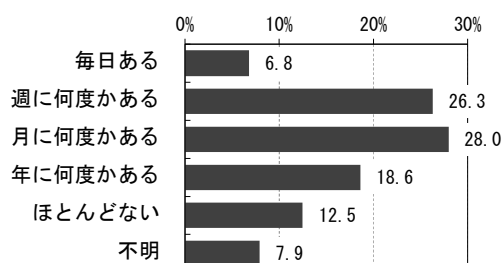


「そのような人はいない」が 28.3%で最も多く、次いで「社会福祉協議会・民生委員」(26.3%)と「医師・歯科医師・看護師」(20.4%)となっています。

(6) 友人・知人と会う頻度

友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 毎日ある	251	6.8
2 週に何度かある	972	26.3
3 月に何度かある	1034	28.0
4 年に何度かある	688	18.6
5 ほとんどない	462	12.5
不明	292	7.9
全体	3699	100.0

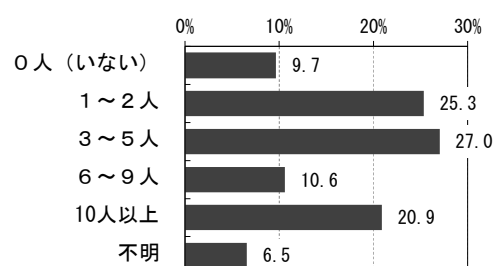


「月に何度かある」が 28.0%で最も多く、次いで「週に何度かある」(26.3%)と「年に何度かある」(18.6%)となっています。

(7) 友人・知人と会った回数

この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 0人 (いない)	357	9.7
2 1～2人	937	25.3
3 3～5人	999	27.0
4 6～9人	392	10.6
5 10人以上	772	20.9
不明	242	6.5
全体	3699	100.0

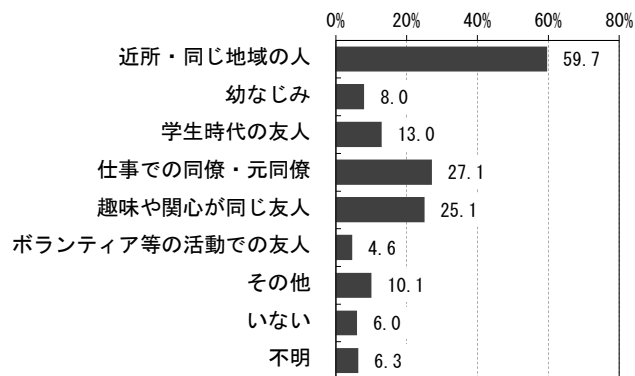


「3～5人」が 27.0%で最も多く、次いで「1～2人」(25.3%)と「10人以上」(20.9%)となっています。

(8) よく会う友人・知人との関係性

よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 近所・同じ地域の人	2207	59.7
2 幼なじみ	297	8.0
3 学生時代の友人	481	13.0
4 仕事での同僚・元同僚	1004	27.1
5 趣味や関心が同じ友人	929	25.1
6 ボランティア等の活動での友人	171	4.6
7 その他	372	10.1
8 いない	222	6.0
不明	234	6.3
全体	3699	100.0



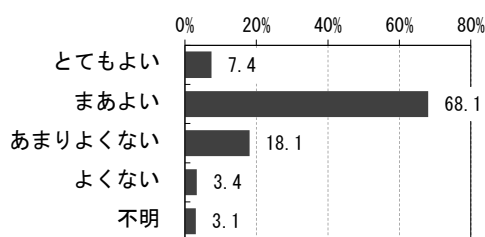
「近所・同じ地域の人」が 59.7%で最も多く、次いで「仕事での同僚・元同僚」(27.1%)と「趣味や関心が同じ友人」(25.1%)となっています。

6. 健康について

(1) 現在の健康状態

現在のあなたの健康状態はいかがですか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 とてもよい	274	7.4
2 まあよい	2518	68.1
3 あまりよくない	669	18.1
4 よくない	125	3.4
不明	113	3.1
全体	3699	100.0

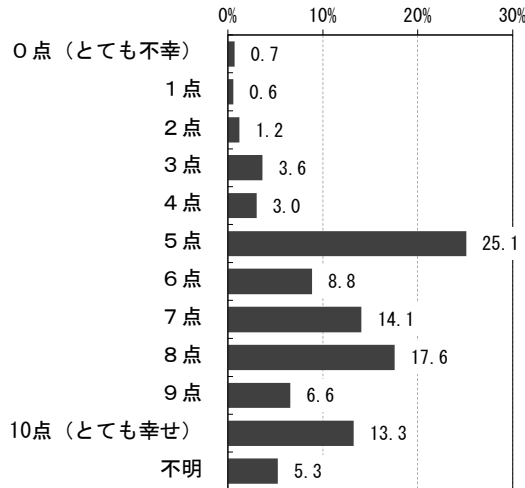


「まあよい」が 68.1%で最も多く、次いで「あまりよくない」(18.1%)と「とてもよい」(7.4%)となっています。

(2) 現在の幸福度

あなたは、現在どの程度幸せですか

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	0点 (とても不幸)	27	0.7
2	1点	22	0.6
3	2点	46	1.2
4	3点	135	3.6
5	4点	112	3.0
6	5点	929	25.1
7	6点	327	8.8
8	7点	521	14.1
9	8点	650	17.6
10	9点	244	6.6
11	10点 (とても幸せ)	491	13.3
	不明	195	5.3
	全体	3699	100.0

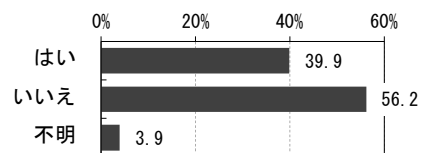


「5点」が25.1%で最も多く、次いで「8点」(17.6%)と「7点」(14.1%)となっています。

(3) ゆううつ感

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	はい	1476	39.9
2	いいえ	2079	56.2
	不明	144	3.9
	全体	3699	100.0

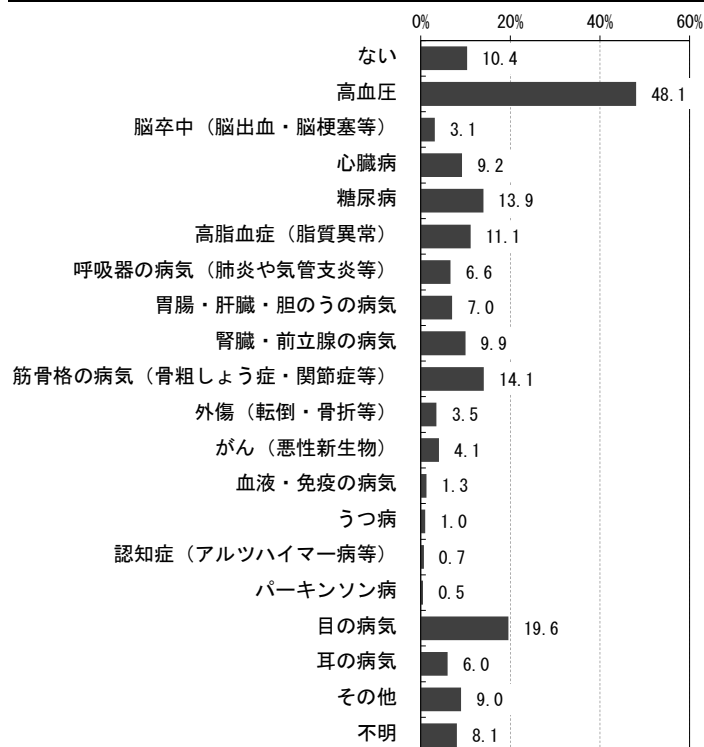


「いいえ」が56.2%、「はい」が39.9%となっています。

(4) 病気

現在治療中、または後遺症のある病気はありますか

	選択肢	回答数(人)	比率(%)
1	ない	383	10.4
2	高血圧	1780	48.1
3	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	116	3.1
4	心臓病	340	9.2
5	糖尿病	515	13.9
6	高脂血症（脂質異常）	410	11.1
7	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	245	6.6
8	胃腸・肝臓・胆のうの病気	258	7.0
9	腎臓・前立腺の病気	367	9.9
10	筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）	522	14.1
11	外傷（転倒・骨折等）	131	3.5
12	がん（悪性新生物）	151	4.1
13	血液・免疫の病気	48	1.3
14	うつ病	37	1.0
15	認知症（アルツハイマー病等）	25	0.7
16	パーキンソン病	18	0.5
17	目の病気	725	19.6
18	耳の病気	221	6.0
19	その他	334	9.0
	不明	298	8.1
	全体	3699	100.0



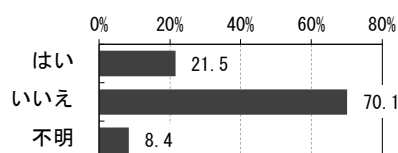
「高血圧」が 48.1%で最も多く、次いで「目の病気」(19.6%)と「筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）」(14.1%)となっています。

7. 認知症について

(1) 認知症の発症状況

ご自身に認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人がいますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 はい	796	21.5
2 いいえ	2594	70.1
不明	309	8.4
全体	3699	100.0

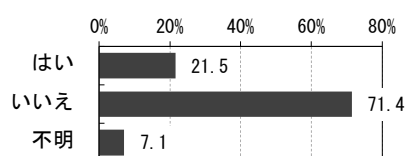


「いいえ」が70.1%、「はい」が21.5%となっています。

(2) 認知症相談窓口の周知度

認知症に関する相談窓口を知っていますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 はい	797	21.5
2 いいえ	2641	71.4
不明	261	7.1
全体	3699	100.0

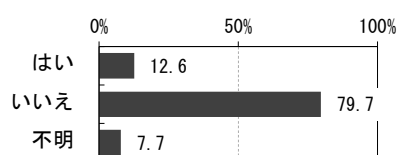


「いいえ」が71.4%、「はい」が21.5%となっています。

(3) 認知症地域支援推進員の周知度

認知症地域支援推進員を知っていますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 はい	465	12.6
2 いいえ	2948	79.7
不明	286	7.7
全体	3699	100.0

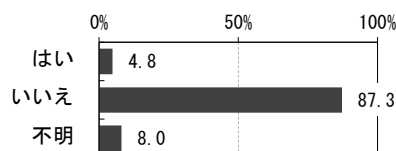


「いいえ」が79.7%、「はい」が12.6%となっています。

(4) 認知症ケアパスの周知度

認知症ケアパスを知っていますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 はい	176	4.8
2 いいえ	3228	87.3
不明	295	8.0
全体	3699	100.0

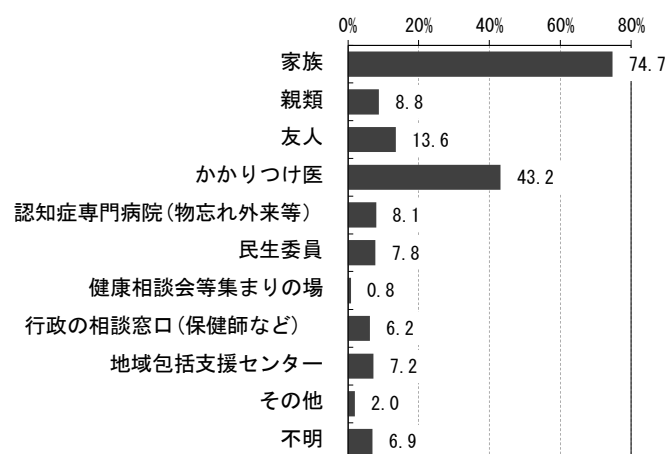


「いいえ」が87.3%、「はい」が4.8%となっています。

(5) 認知症が気になり始めたときの最初の相談先

ご自身について、物忘れが出てきたなど、何となくおかしいと感じはじめたら誰に（どこに）相談しますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 家族	2765	74.7
2 親類	327	8.8
3 友人	502	13.6
4 かかりつけ医	1597	43.2
5 認知症専門病院(物忘れ外来等)	298	8.1
6 民生委員	290	7.8
7 健康相談会等集まりの場	31	0.8
8 行政の相談窓口(保健師など)	229	6.2
9 地域包括支援センター	266	7.2
10 その他	73	2.0
不明	256	6.9
全体	3699	100.0

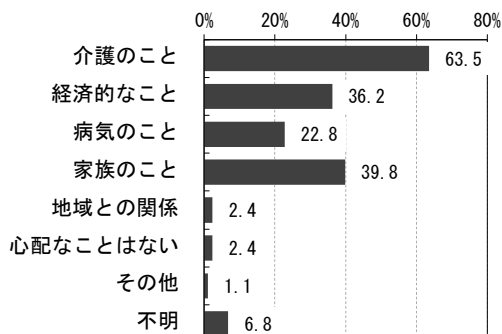


「家族」が74.7%で最も多く、次いで「かかりつけ医」(43.2%)と「友人」(13.6%)となっています。

(6) 認知症になった時の心配事

ご自身が認知症になったとしたら、どのようなことが心配ですか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 介護のこと	2350	63.5
2 経済的なこと	1339	36.2
3 病気のこと	842	22.8
4 家族のこと	1473	39.8
5 地域との関係	87	2.4
6 心配なことはない	88	2.4
7 その他	40	1.1
不明	251	6.8
全体	3699	100.0

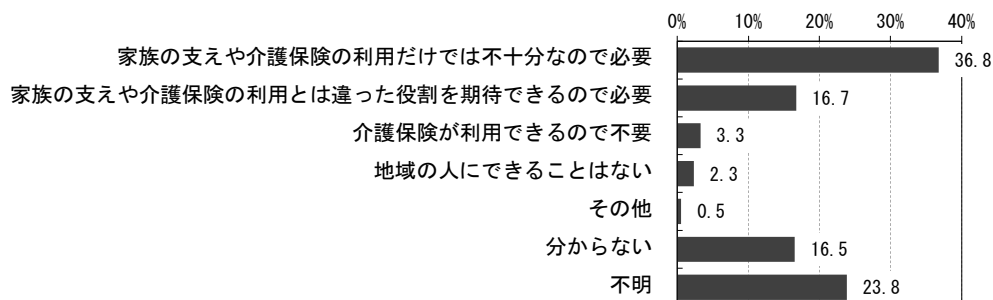


「介護のこと」が 63.5%で最も多く、次いで「家族のこと」(39.8%)と「経済的なこと」(36.2%)となっています。

(7) 地域の協力の必要性

認知症高齢者が地域で生活していくためには、地域の人の協力が必要だと思いますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 家族の支えや介護保険の利用だけでは不十分なので必要	1360	36.8
2 家族の支えや介護保険の利用とは違った役割を期待できるので必要	619	16.7
3 介護保険が利用できるので不要	121	3.3
4 地域の人にできることはない	86	2.3
5 その他	20	0.5
6 分からない	611	16.5
不明	882	23.8
全体	3699	100.0

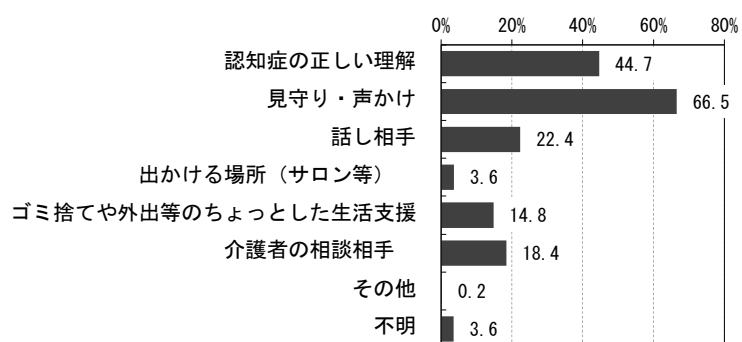


「家族の支えや介護保険の利用だけでは不十分なので必要」が 36.8%で最も多く、次いで「家族の支えや介護保険の利用とは違った役割を期待できるので必要」(16.7%)と「分からない」(16.5%)となっています。

(8) 必要とする地域の協力

地域の人にどのような協力を求めますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 認知症の正しい理解	884	44.7
2 見守り・声かけ	1317	66.5
3 話し相手	443	22.4
4 出かける場所（サロン等）	72	3.6
5 ゴミ捨てや外出等のちょっとした生活支援	293	14.8
6 介護者の相談相手	365	18.4
7 その他	4	0.2
不明	71	3.6
非該当	1720	

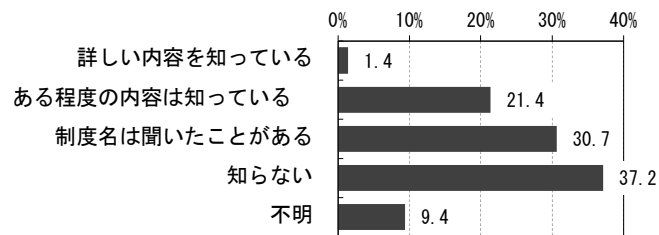


「見守り・声かけ」が 66.5%で最も多く、次いで「認知症の正しい理解」(44.7%)と「話し相手」(22.4%)となっています。

(9) 成年後見制度の周知度

認知症、知的障がいなどの理由で判断能力の不十分な方の保護や支援を行う成年後見制度について、知っていますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 詳しい内容を知っている	52	1.4
2 ある程度の内容は知っている	792	21.4
3 制度名は聞いたことがある	1134	30.7
4 知らない	1375	37.2
不明	346	9.4
全体	3699	100.0

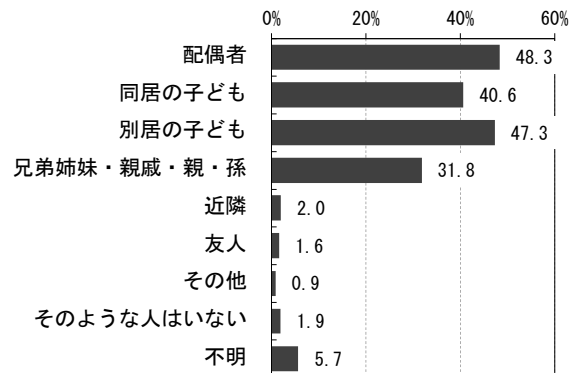


「知らない」が 37.2%で最も多く、次いで「制度名は聞いたことがある」(30.7%)と「ある程度の内容は知っている」(21.4%)となっています。

(10) 身元保証人の有無

あなたが施設や病院に入所することになった場合に、身元保証人（身元引受人）をお願いできる人はいますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 配偶者	1787	48.3
2 同居の子ども	1503	40.6
3 別居の子ども	1750	47.3
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	1178	31.8
5 近隣	73	2.0
6 友人	61	1.6
7 その他	34	0.9
8 そのような人はいない	70	1.9
不明	210	5.7
全体	3699	100.0



「配偶者」が 48.3%で最も多く、次いで「別居の子ども」(47.3%)と「同居の子ども」(40.6%)となっています。

8. 生活機能評価

(1) 生活機能評価の判定基準

本調査で算出しているリスク判定の方法については、国の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の手引き等を踏まえ、以下のように算出しています。なお、これまでの基本チェックリストによる判定方法と異なります。

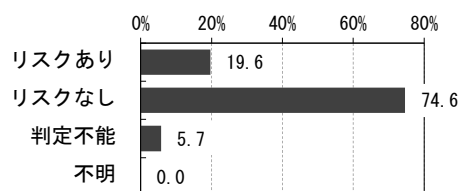
評価項目	内容
	次の5項目のうち3項目以上に該当すればリスクあり（5項目全てを答えた人が対象）
運動器の機能低下	<p>○問2（1）「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。」で、「3. できない」を選択</p> <p>○問2（2）「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。」で、「3. できない」を選択</p> <p>○問2（3）「15分位続けて歩いていますか。」で、「3. できない」を選択</p> <p>○問2（4）「過去1年間に転んだ経験がありますか。」で、「1. 何度もある」「2. 1度ある」を選択</p> <p>○問2（5）「転倒に対する不安は大きいですか。」で、「1. とても不安である」「2. やや不安である」を選択</p>
転倒	問2（4）「過去1年間に転んだ経験がありますか。」で、「1. 何度もある」「2. 1度ある」の選択肢を選んだ場合はリスクあり
閉じこもり	問2（6）「週に1回以上は外出していますか。」で、「1. ほとんど外出しない」「2. 週1回」の選択肢を選んだ場合はリスクあり
	次の3項目のうち2項目以上に該当すればリスクあり（3項目全てを答えた人が対象）
口腔機能低下	<p>○問3（2）「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。」で、「1. はい」を選択</p> <p>○問3（3）「お茶や汁物等でむせることがありますか。」で、「1. はい」を選択</p> <p>○問3（4）「口の渇きが気になりますか。」で、「1. はい」を選択</p>
	身長・体重から算出されるBMI18.5以下で、6か月間で2～3kg以上の体重減少がある場合はリスクあり（2項目全てを答えた人が対象）
低栄養の傾向	<p>○問3（1）「身長・体重をお答えください」で、BMI18.5以下が該当</p> <p>○問3（7）「6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。」で、「1. はい」を選択</p>
認知機能の低下	問4（1）「物忘れが多いと感じますか。」で「1. はい」の選択肢を選んだ場合はリスクあり

評価項目	内容
うつ傾向	<p>次の2項目中、1項目以上に該当すればリスクあり（2項目全てを答えた人が対象）</p> <p>○問7（3）「この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。」で、「1．はい」を選択</p> <p>○問7（4）「この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。」で、「1．はい」を選択</p>
IADL	<p>次の5項目中、それぞれ「できるし、している」「できるが、していない」と回答した方を1点として、合計3点以下の場合はリスクあり（5項目全てを答えた人が対象）</p> <p>○問4（4）バスや電車を使って1人で外出していますか。（自家用車でも可）。</p> <p>○問4（5）自分で食品・日用品の買物をしていますか。</p> <p>○問4（6）自分で食事の用意をしていますか。</p> <p>○問4（7）自分で請求書の支払いをしていますか。</p> <p>○問4（8）自分で預貯金の出し入れをしていますか。</p>

(2) 生活機能評価の判定結果

運動器の機能低下リスク

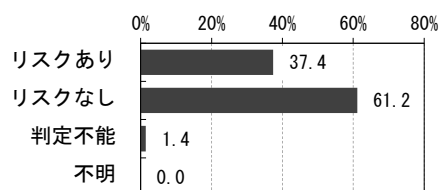
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 リスクあり	726	19.6
2 リスクなし	2761	74.6
3 判定不能	212	5.7
不明	0	0.0
全体	3699	100.0



「リスクなし」が74.6%で最も多く、次いで「リスクあり」(19.6%)と「判定不能」(5.7%)となっています。

転倒リスク

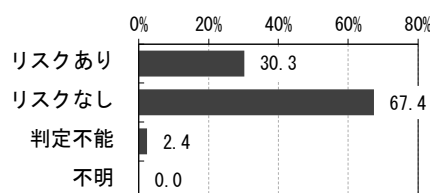
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 リスクあり	1384	37.4
2 リスクなし	2262	61.2
3 判定不能	53	1.4
不明	0	0.0
全体	3699	100.0



「リスクなし」が61.2%で最も多く、次いで「リスクあり」(37.4%)と「判定不能」(1.4%)となっています。

閉じこもりリスク

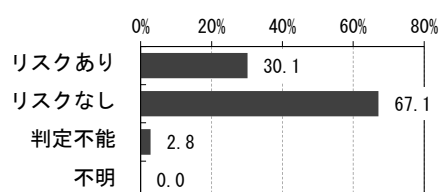
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 リスクあり	1120	30.3
2 リスクなし	2492	67.4
3 判定不能	87	2.4
不明	0	0.0
全体	3699	100.0



「リスクなし」が67.4%で最も多く、次いで「リスクあり」(30.3%)と「判定不能」(2.4%)となっています。

口腔機能低下リスク

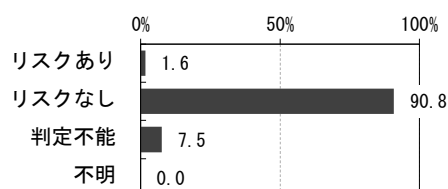
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 リスクあり	1114	30.1
2 リスクなし	2482	67.1
3 判定不能	103	2.8
不明	0	0.0
全体	3699	100.0



「リスクなし」が67.1%で最も多く、次いで「リスクあり」(30.1%)と「判定不能」(2.8%)となっています。

低栄養リスク

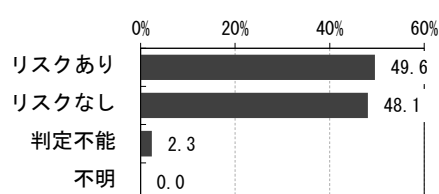
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 リスクあり	61	1.6
2 リスクなし	3360	90.8
3 判定不能	278	7.5
不明	0	0.0
全体	3699	100.0



「リスクなし」が90.8%で最も多く、次いで「判定不能」(7.5%)と「リスクあり」(1.6%)となっています。

認知機能低下リスク

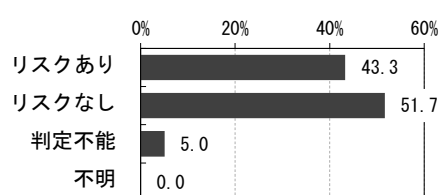
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 リスクあり	1834	49.6
2 リスクなし	1779	48.1
3 判定不能	86	2.3
不明	0	0.0
全体	3699	100.0



「リスクあり」が49.6%で最も多く、次いで「リスクなし」(48.1%)と「判定不能」(2.3%)となっています。

うつ傾向リスク

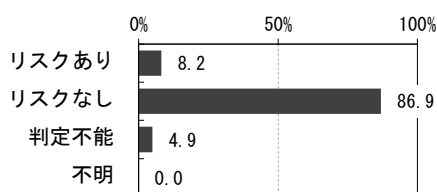
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 リスクあり	1602	43.3
2 リスクなし	1911	51.7
3 判定不能	186	5.0
不明	0	0.0
全体	3699	100.0



「リスクなし」が51.7%で最も多く、次いで「リスクあり」(43.3%)と「判定不能」(5.0%)となっています。

I A D L 低下リスク

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 リスクあり	302	8.2
2 リスクなし	3216	86.9
3 判定不能	181	4.9
不明	0	0.0
全体	3699	100.0



「リスクなし」が 86.9%で最も多く、次いで「リスクあり」(8.2%)と「判定不能」(4.9%)となっています。

【生活機能評価の判定について】

- 各評価においてリスクがあると判定された割合は、認知機能低下リスクが 49.6%、うつ傾向リスクが 43.3%、転倒リスクが 37.4%、閉じこもりリスクが 30.3%、口腔機能低下リスクが 30.1%、運動器の機能低下リスクが 19.6%、I A D L 低下リスクが 8.2%、低栄養リスクが 1.6%となっています。
- 性別では、男性は“認知機能”“うつ”の順にリスクが高く、平均を上回っているのが“転倒”、女性は“認知機能”“うつ”の順にリスクが高く、平均を上回っているのが“運動器”“閉じこもり”“低栄養”“認知機能”“うつ”“I A D L”となっています。
- 区分では、すべてにおいて“認知機能”が最もリスクが高くなっていますが、一般高齢者は“うつ”、事業対象者は“転倒”、要支援認定者は“運動器”が続いています。
- 区域では、すべてにおいて“認知機能”が最もリスクが高く、川崎の“転倒”を除いて、そのほかの区域では“うつ”が続いています。

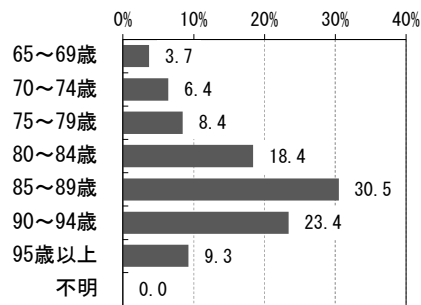
		項目							
		①運動器	②転倒	③閉じこもり	④口腔	⑤低栄養	⑥認知機能	⑦うつ	⑧IADL
全体		19.6	37.4	30.3	30.1	1.6	49.6	43.3	8.2
性別	男性	16.1	37.8	24.5	30.1	1.3	47.6	42.5	7.2
	女性	23.0	37.0	35.9	30.0	2.0	51.5	44.0	9.2
区分	一般	14.7	35.6	26.8	27.9	1.5	48.1	42.3	5.2
	事業	41.4	58.6	41.4	27.6	3.4	65.5	48.3	24.1
	要支援	55.8	49.9	56.3	47.0	2.6	59.9	50.4	29.9
区域	一関 1	17.6	36.6	28.3	27.6	0.8	45.8	44.6	6.6
	一関 2	19.8	38.5	23.2	29.9	2.0	45.2	43.4	6.3
	花泉	20.9	34.3	28.1	32.2	1.8	52.1	42.8	9.0
	室根	18.3	39.3	33.6	32.1	0.9	47.6	42.4	8.1
	千厩	20.7	33.4	33.7	31.5	2.2	53.0	44.6	10.9
	川崎	18.3	40.1	36.0	24.9	3.0	47.2	36.0	7.6
	大東	23.8	38.1	44.0	32.1	1.2	54.2	51.2	14.3
	東山	25.8	40.8	38.3	27.5	0.8	62.5	45.0	12.5
	藤沢	21.9	39.8	35.1	33.1	3.2	56.2	42.6	8.8
	平泉	16.3	36.6	28.2	30.0	1.3	55.9	39.2	7.0

第3章 在宅介護実態調査結果

1. 調査対象者の属性

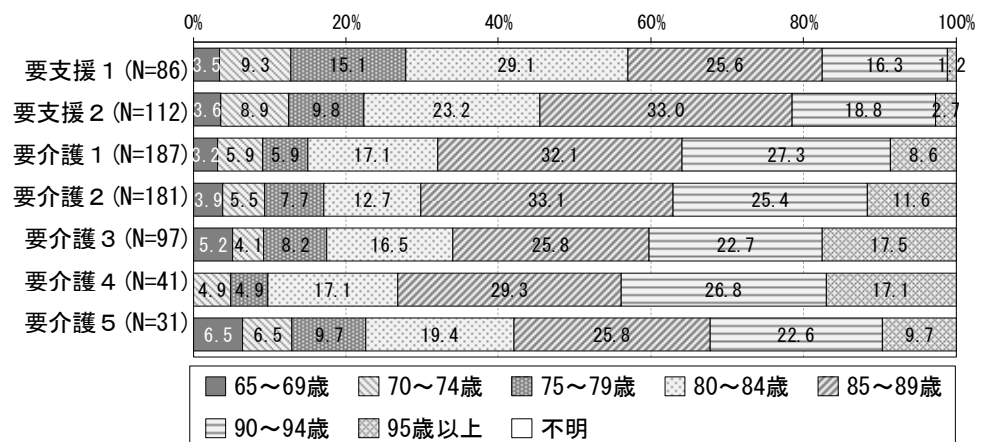
(1) 年齢

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 65～69歳	27	3.7
2 70～74歳	47	6.4
3 75～79歳	62	8.4
4 80～84歳	135	18.4
5 85～89歳	224	30.5
6 90～94歳	172	23.4
7 95歳以上	68	9.3
不明	0	0.0
全体	735	100.0



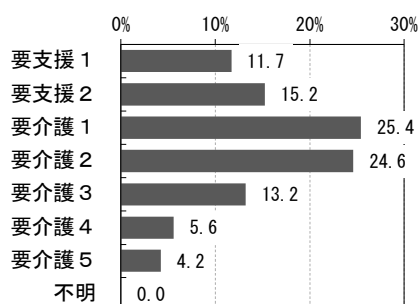
「85～89歳」が30.5%で最も多く、次いで「90～94歳」(23.4%)と「80～84歳」(18.4%)となっています。

[要介護度×調査対象者の年齢]



(2) 要介護度

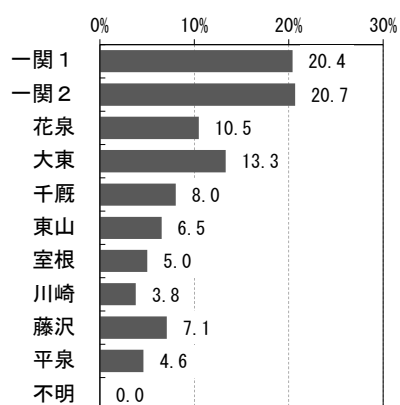
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 要支援 1	86	11.7
2 要支援 2	112	15.2
3 要介護 1	187	25.4
4 要介護 2	181	24.6
5 要介護 3	97	13.2
6 要介護 4	41	5.6
7 要介護 5	31	4.2
不明	0	0.0
全体	735	100.0



「要介護 1」が 25.4%で最も多く、次いで「要介護 2」(24.6%)と「要支援 2」(15.2%)となっています。

(3) 日常生活圏域

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 一関 1	150	20.4
2 一関 2	152	20.7
3 花泉	77	10.5
4 大東	98	13.3
5 千厩	59	8.0
6 東山	48	6.5
7 室根	37	5.0
8 川崎	28	3.8
9 藤沢	52	7.1
10 平泉	34	4.6
不明	0	0.0
全体	735	100.0



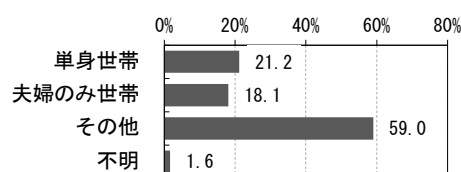
「一関 2」が 20.7%で最も多く、次いで「一関 1」(20.4%)と「大東」(13.3%)となっています。

2. 集計・分析

(1) 世帯類型

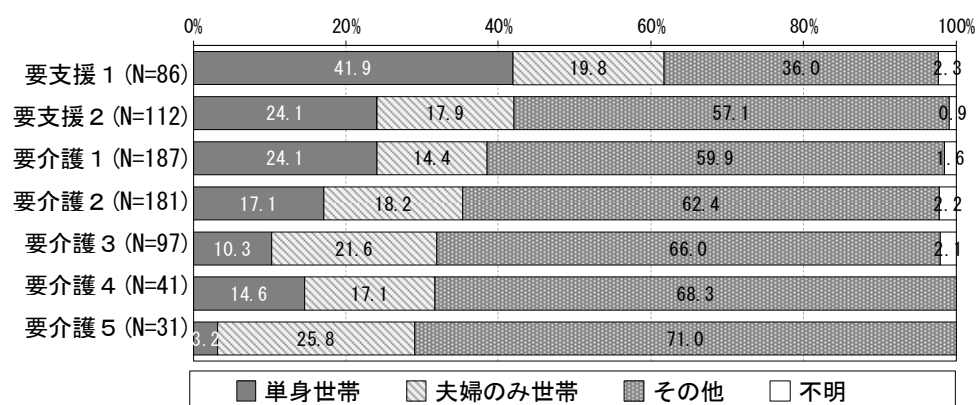
世帯類型について、ご回答ください

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 単身世帯	156	21.2
2 夫婦のみ世帯	133	18.1
3 その他	434	59.0
不明	12	1.6
全体	735	100.0



「その他」が 59.0%で最も多く、次いで「単身世帯」(21.2%)と「夫婦のみ世帯」(18.1%)となっています。

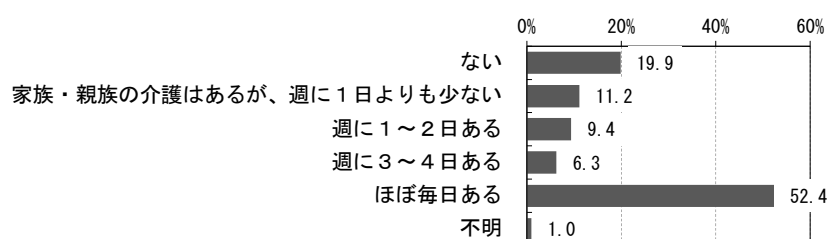
[要介護度×世帯類型]



(2) 家族や親族からの介護の状況

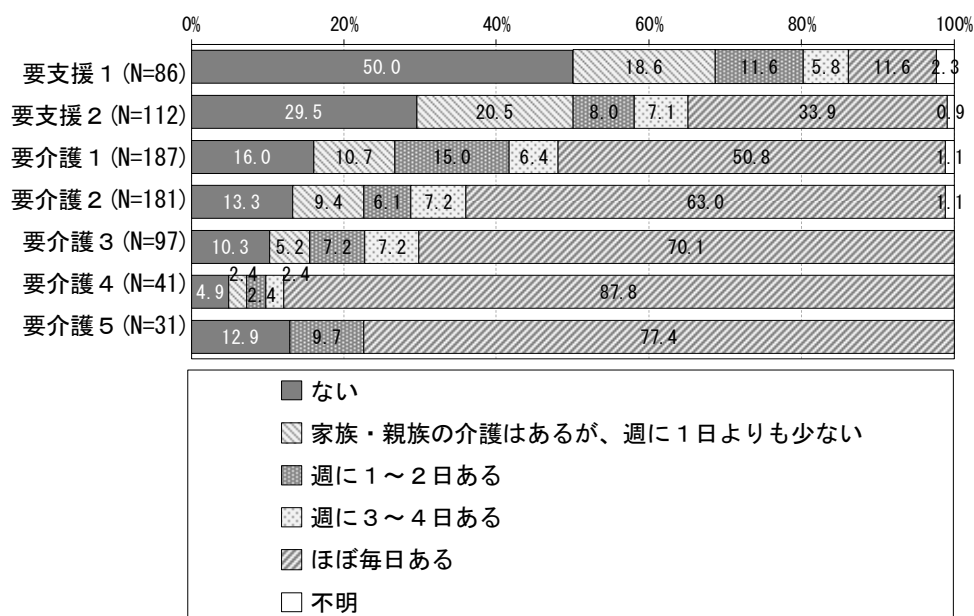
ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 ない	146	19.9
2 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない	82	11.2
3 週に1～2日ある	69	9.4
4 週に3～4日ある	46	6.3
5 ほぼ毎日ある	385	52.4
不明	7	1.0
全体	735	100.0



「ほぼ毎日ある」が 52.4%で最も多く、次いで「ない」(19.9%)と「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」(11.2%)となっています。

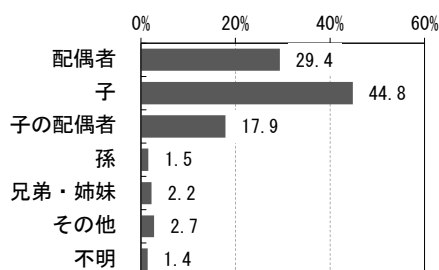
[要介護度×家族等からの介護の状況]



(3) 主な介護者

主な介護者の方は、どなたですか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 配偶者	171	29.4
2 子	261	44.8
3 子の配偶者	104	17.9
4 孫	9	1.5
5 兄弟・姉妹	13	2.2
6 その他	16	2.7
不明	8	1.4
非該当	153	

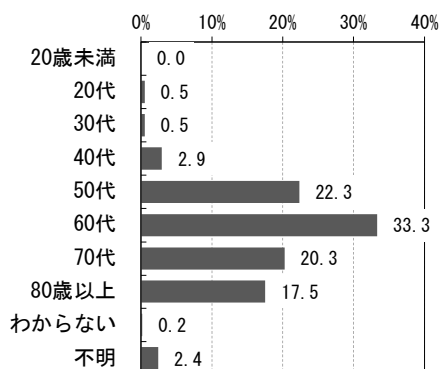


「子」が 44.8%で最も多く、次いで「配偶者」(29.4%)と「子の配偶者」(17.9%)となっています。

(4) 主な介護者の年齢

主な介護者の方の年齢について、ご回答ください

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 20歳未満	0	0.0
2 20代	3	0.5
3 30代	3	0.5
4 40代	17	2.9
5 50代	130	22.3
6 60代	194	33.3
7 70代	118	20.3
8 80歳以上	102	17.5
9 わからない	1	0.2
不明	14	2.4
非該当	153	

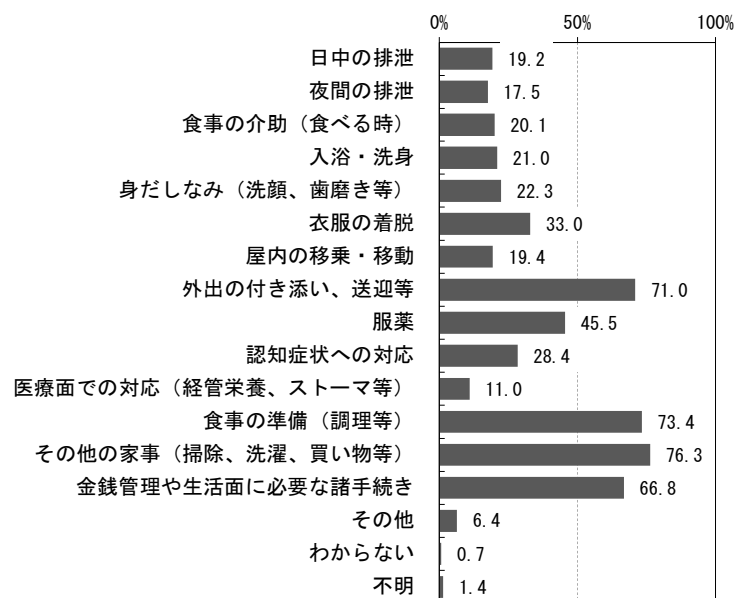


「60代」が 33.3%で最も多く、次いで「50代」(22.3%)と「70代」(20.3%)となっています。

(5) 主な介護者から受けている介護等

現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 日中の排泄	112	19.2
2 夜間の排泄	102	17.5
3 食事の介助（食べる時）	117	20.1
4 入浴・洗身	122	21.0
5 身だしなみ（洗顔、歯磨き等）	130	22.3
6 衣服の着脱	192	33.0
7 屋内の移乗・移動	113	19.4
8 外出の付き添い、送迎等	413	71.0
9 服薬	265	45.5
10 認知症状への対応	165	28.4
11 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	64	11.0
12 食事の準備（調理等）	427	73.4
13 その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	444	76.3
14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	389	66.8
15 その他	37	6.4
16 わからない	4	0.7
不明	8	1.4
非該当	153	

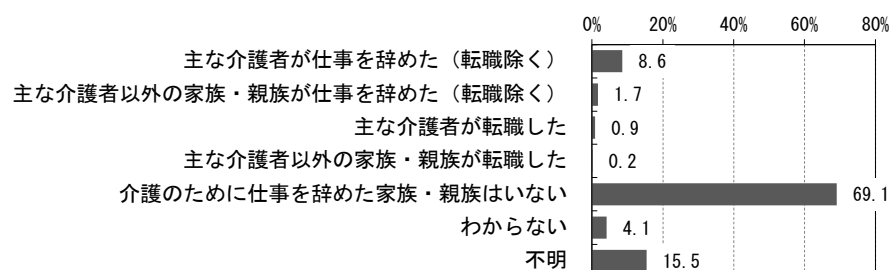


「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が76.3%で最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」(73.4%)と「外出の付き添い、送迎等」(71.0%)となっています。

(6) 介護を理由とした退職の有無

ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	50	8.6
2 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	10	1.7
3 主な介護者が転職した	5	0.9
4 主な介護者以外の家族・親族が転職した	1	0.2
5 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	402	69.1
6 わからない	24	4.1
不明	90	15.5
非該当	153	

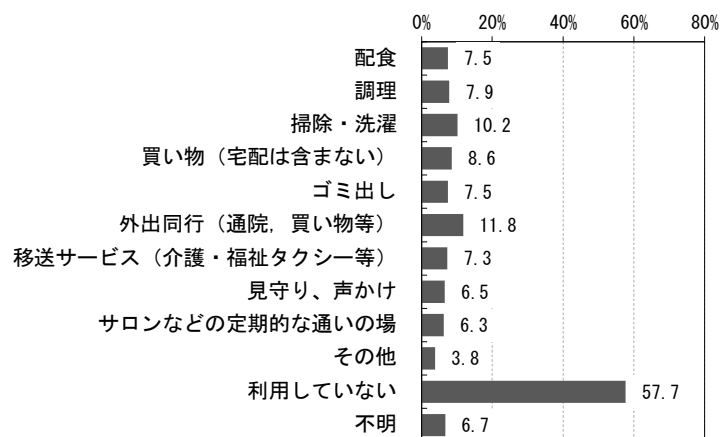


「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 69.1%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」(8.6%)と「わからない」(4.1%)となっています。

(7) 利用している「介護保険サービス以外」の支援

現在、利用している、「介護保険（総合事業を含む）サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 配食	55	7.5
2 調理	58	7.9
3 掃除・洗濯	75	10.2
4 買い物（宅配は含まない）	63	8.6
5 ゴミ出し	55	7.5
6 外出同行（通院、買い物等）	87	11.8
7 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	54	7.3
8 見守り、声かけ	48	6.5
9 サロンなどの定期的な通いの場	46	6.3
10 その他	28	3.8
11 利用していない	424	57.7
不明	49	6.7
全体	735	100.0

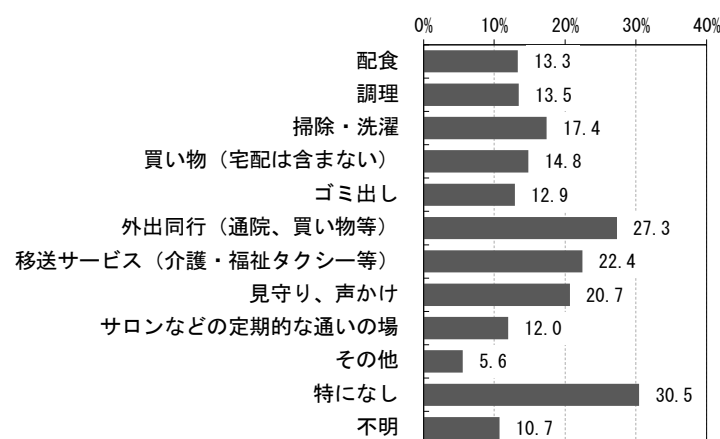


「利用していない」が 57.7%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物等）」(11.8%)と「掃除・洗濯」(10.2%)となっています。

（８）在宅生活の継続に必要な支援

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 配食	98	13.3
2 調理	99	13.5
3 掃除・洗濯	128	17.4
4 買い物（宅配は含まない）	109	14.8
5 ゴミ出し	95	12.9
6 外出同行（通院、買い物等）	201	27.3
7 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	165	22.4
8 見守り、声かけ	152	20.7
9 サロンなどの定期的な通いの場	88	12.0
10 その他	41	5.6
11 特になし	224	30.5
不明	79	10.7
全体	735	100.0

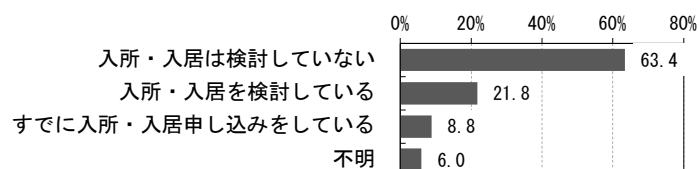


「特になし」が30.5%で最も多く、「外出同行（通院、買い物等）」(27.3%)と「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」(22.4%)となっています。

（９）施設等への入所・入居の検討状況

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 入所・入居は検討していない	466	63.4
2 入所・入居を検討している	160	21.8
3 すでに入所・入居申し込みをしている	65	8.8
不明	44	6.0
全体	735	100.0

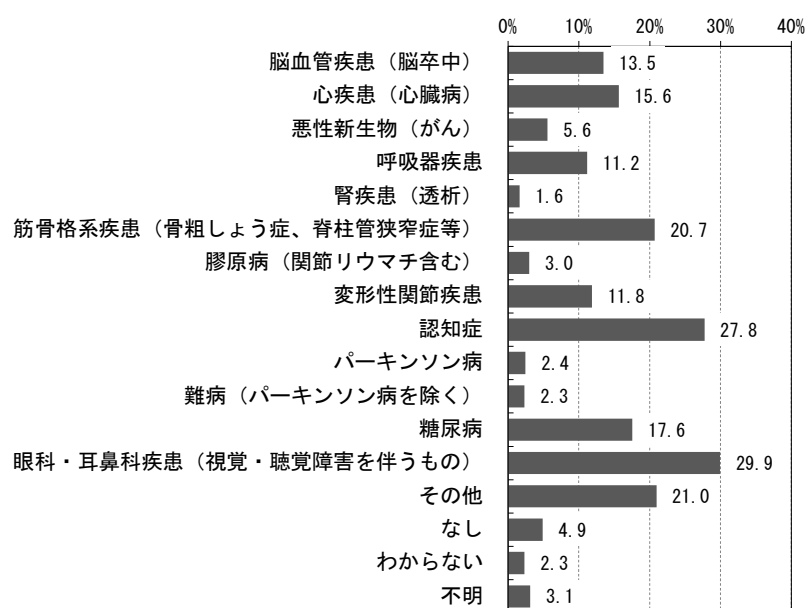


「入所・入居は検討していない」が63.4%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」(21.8%)と「すでに入所・入居申し込みをしている」(8.8%)となっています。

(10) 現在の傷病

ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください

選択肢	回答数(人)	比率 (%)
1 脳血管疾患（脳卒中）	99	13.5
2 心疾患（心臓病）	115	15.6
3 悪性新生物（がん）	41	5.6
4 呼吸器疾患	82	11.2
5 腎疾患（透析）	12	1.6
6 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	152	20.7
7 膠原病（関節リウマチ含む）	22	3.0
8 変形性関節疾患	87	11.8
9 認知症	204	27.8
10 パーキンソン病	18	2.4
11 難病（パーキンソン病を除く）	17	2.3
12 糖尿病	129	17.6
13 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	220	29.9
14 その他	154	21.0
15 なし	36	4.9
16 わからない	17	2.3
不明	23	3.1
全体	735	100.0

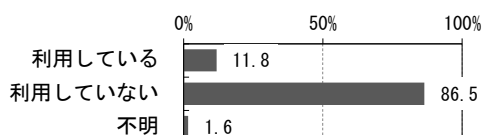


「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」が 29.9%で最も多く、次いで「認知症」(27.8%)と「その他」(21.0%)となっています。

(11) 訪問診療の利用状況

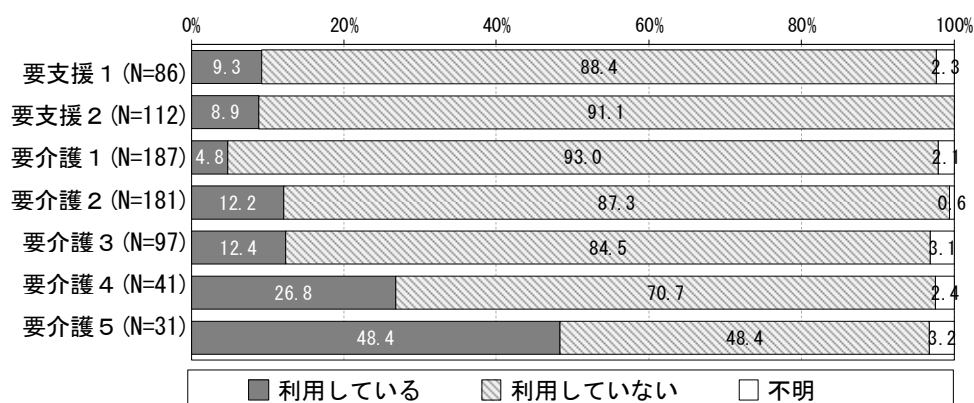
ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 利用している	87	11.8
2 利用していない	636	86.5
不明	12	1.6
全体	735	100.0



「利用していない」が 86.5%、「利用している」が 11.8%となっています。

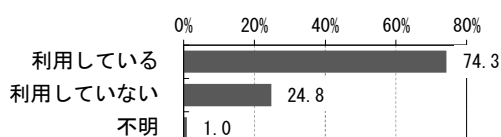
[要介護度×訪問診療の利用状況]



(12) 介護保険サービスの利用状況

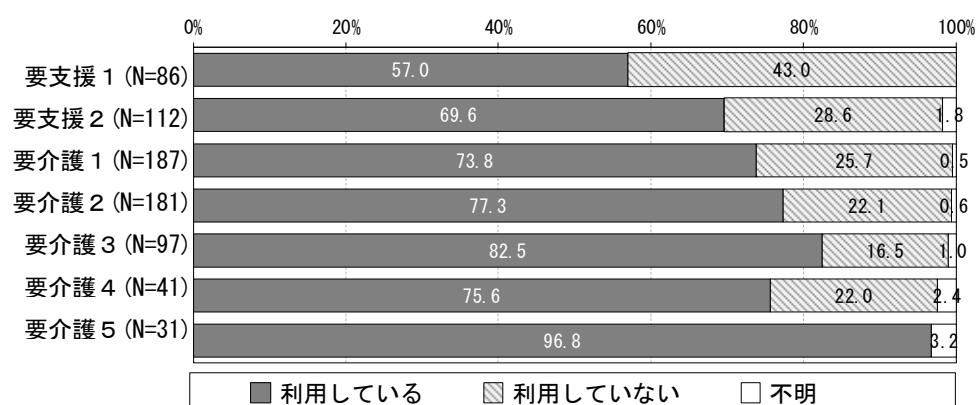
現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 利用している	546	74.3
2 利用していない	182	24.8
不明	7	1.0
全体	735	100.0



「利用している」が 74.3%、「利用していない」が 24.8%となっています。

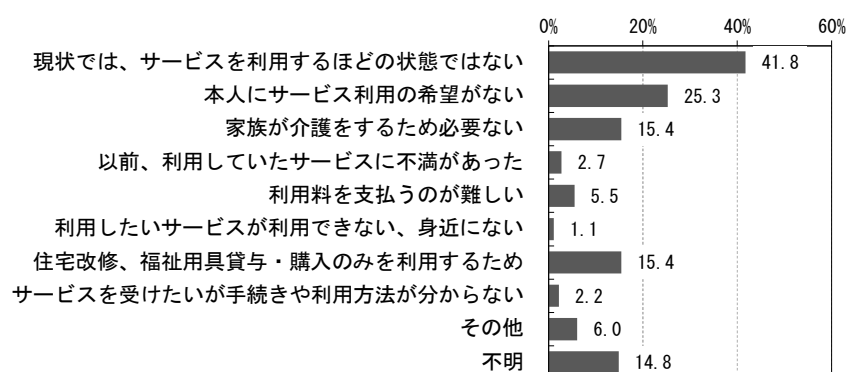
〔要介護度×介護保険サービスの利用状況〕



(13) 介護保険サービスを利用していない理由

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	76	41.8
2 本人にサービス利用の希望がない	46	25.3
3 家族が介護をするため必要ない	28	15.4
4 以前、利用していたサービスに不満があった	5	2.7
5 利用料を支払うのが難しい	10	5.5
6 利用したいサービスが利用できない、身近にない	2	1.1
7 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	28	15.4
8 サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	4	2.2
9 その他	11	6.0
不明	27	14.8
非該当	553	

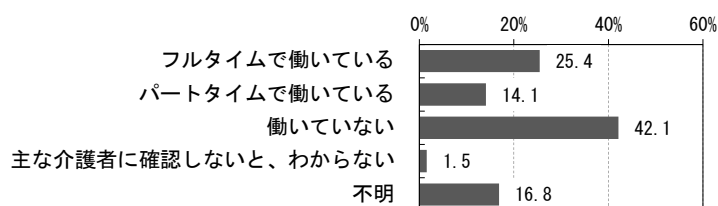


「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 41.8%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」(25.3%)となっています。

(14) 主な介護者の勤務形態

主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 フルタイムで働いている	148	25.4
2 パートタイムで働いている	82	14.1
3 働いていない	245	42.1
4 主な介護者に確認しないと、わからない	9	1.5
不明	98	16.8
非該当	153	

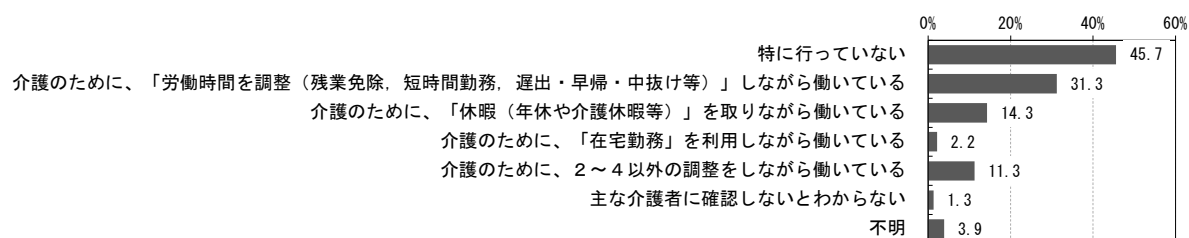


「働いていない」が42.1%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」(25.4%)と「パートタイムで働いている」(14.1%)となっています。

(15) 介護者の働き方の調整

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 特に行っていない	105	45.7
2 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている	72	31.3
3 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら働いている	33	14.3
4 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら働いている	5	2.2
5 介護のために、2～4以外の調整をしながら働いている	26	11.3
6 主な介護者に確認しないとわからない	3	1.3
不明	9	3.9
非該当	505	

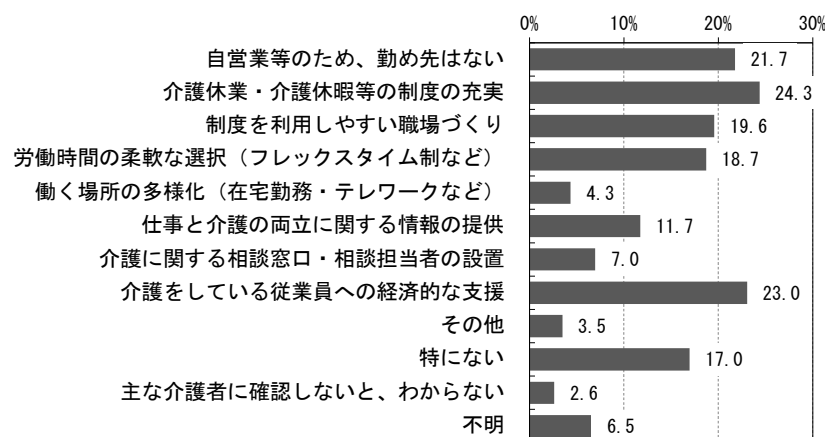


「特に行っていない」が45.7%で最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている」(31.3%)と「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら働いている」(14.3%)となっています。

(16) 仕事と介護の両立のために必要な勤務先からの支援

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 自営業等のため、勤め先はない	50	21.7
2 介護休業・介護休暇等の制度の充実	56	24.3
3 制度を利用しやすい職場づくり	45	19.6
4 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	43	18.7
5 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	10	4.3
6 仕事と介護の両立に関する情報の提供	27	11.7
7 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	16	7.0
8 介護をしている従業員への経済的な支援	53	23.0
9 その他	8	3.5
10 特になし	39	17.0
11 主な介護者に確認しないと、わからない	6	2.6
不明	15	6.5
非該当	505	

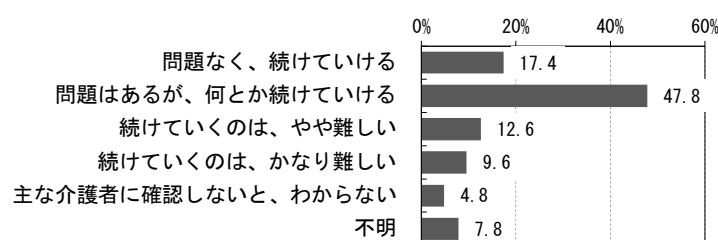


「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 24.3%で最も多く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」(23.0%)と「自営業等のため、勤め先はない」(21.7%)となっています。

(17) 働きながらの介護継続

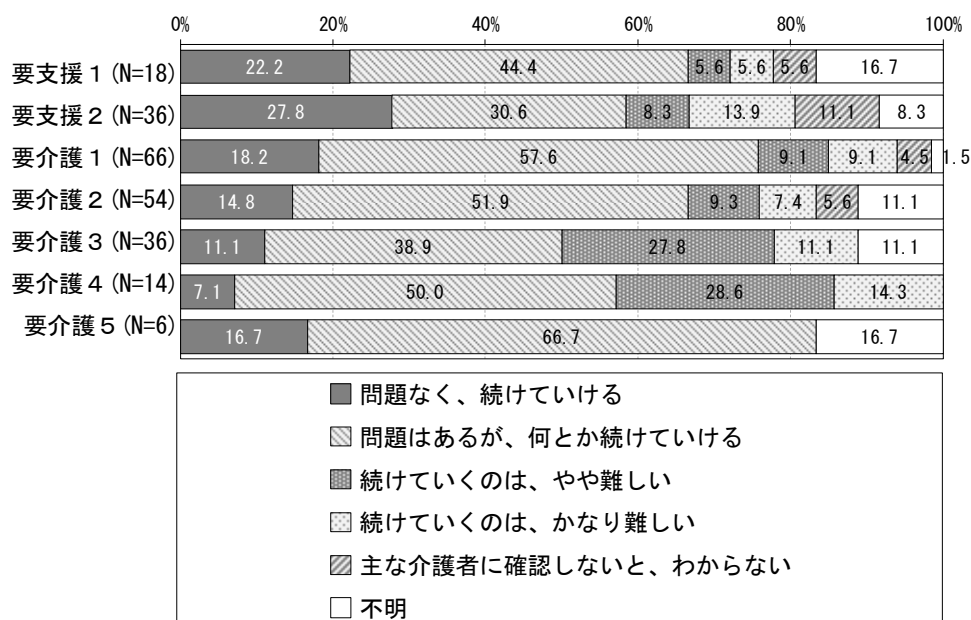
主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 問題なく、続けていける	40	17.4
2 問題はあるが、何とか続けていける	110	47.8
3 続けていくのは、やや難しい	29	12.6
4 続けていくのは、かなり難しい	22	9.6
5 主な介護者に確認しないと、わからない	11	4.8
不明	18	7.8
非該当	505	



「問題はあるが、何とか続けていける」が 47.8%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」(17.4%)と「続けていくのは、やや難しい」(12.6%)となっています。

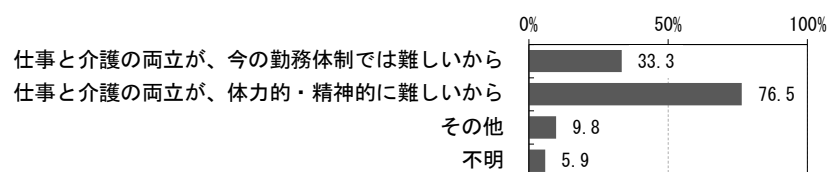
[要介護度×働きながら介護継続]



(1 8) 働きながら介護を続けることが難しい理由

主な介護者の方が、今後は働きながら介護を続けていくことが難しい理由は何ですか

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 仕事と介護の両立が、今の勤務体制では難しいから	17	33.3
2 仕事と介護の両立が、体力的・精神的に難しいから	39	76.5
3 その他	5	9.8
不明	3	5.9
非該当	684	

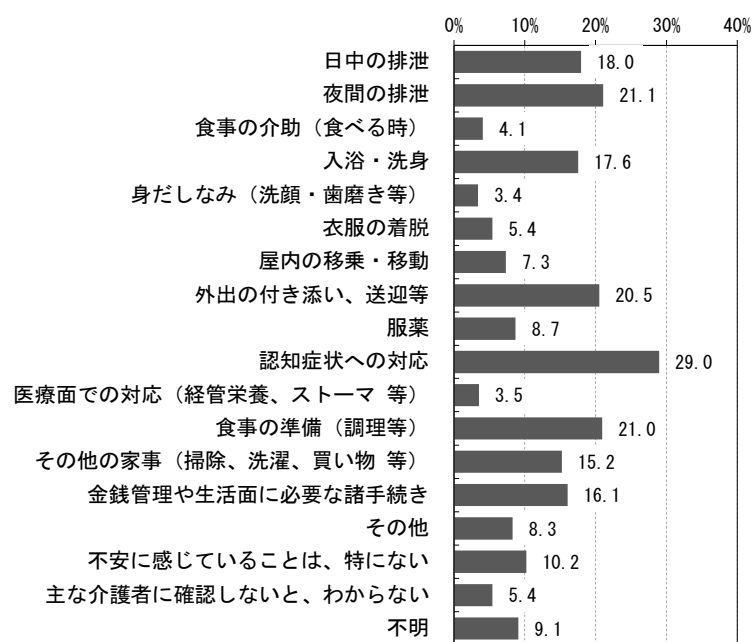


「仕事と介護の両立が、体力的・精神的に難しいから」が 76.5%で最も多く、次いで「仕事と介護の両立が、今の勤務体制では難しいから」(33.3%)と「その他」(9.8%)となっています。

(1 9) 不安に感じる介護等

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 日中の排泄	132	18.0
2 夜間の排泄	155	21.1
3 食事の介助（食べる時）	30	4.1
4 入浴・洗身	129	17.6
5 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	25	3.4
6 衣服の着脱	40	5.4
7 屋内の移乗・移動	54	7.3
8 外出の付き添い、送迎等	151	20.5
9 服薬	64	8.7
10 認知症状への対応	213	29.0
11 医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）	26	3.5
12 食事の準備（調理等）	154	21.0
13 その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）	112	15.2
14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	118	16.1
15 その他	61	8.3
16 不安に感じていることは、特になし	75	10.2
17 主な介護者に確認しないと、わからない	40	5.4
不明	67	9.1
全体	735	100.0



「認知症状への対応」が 29.0%で最も多く、次いで「夜間の排泄」(21.1%)と「食事の準備（調理等）」(21.0%)となっています。

資料No. 4 ⑤

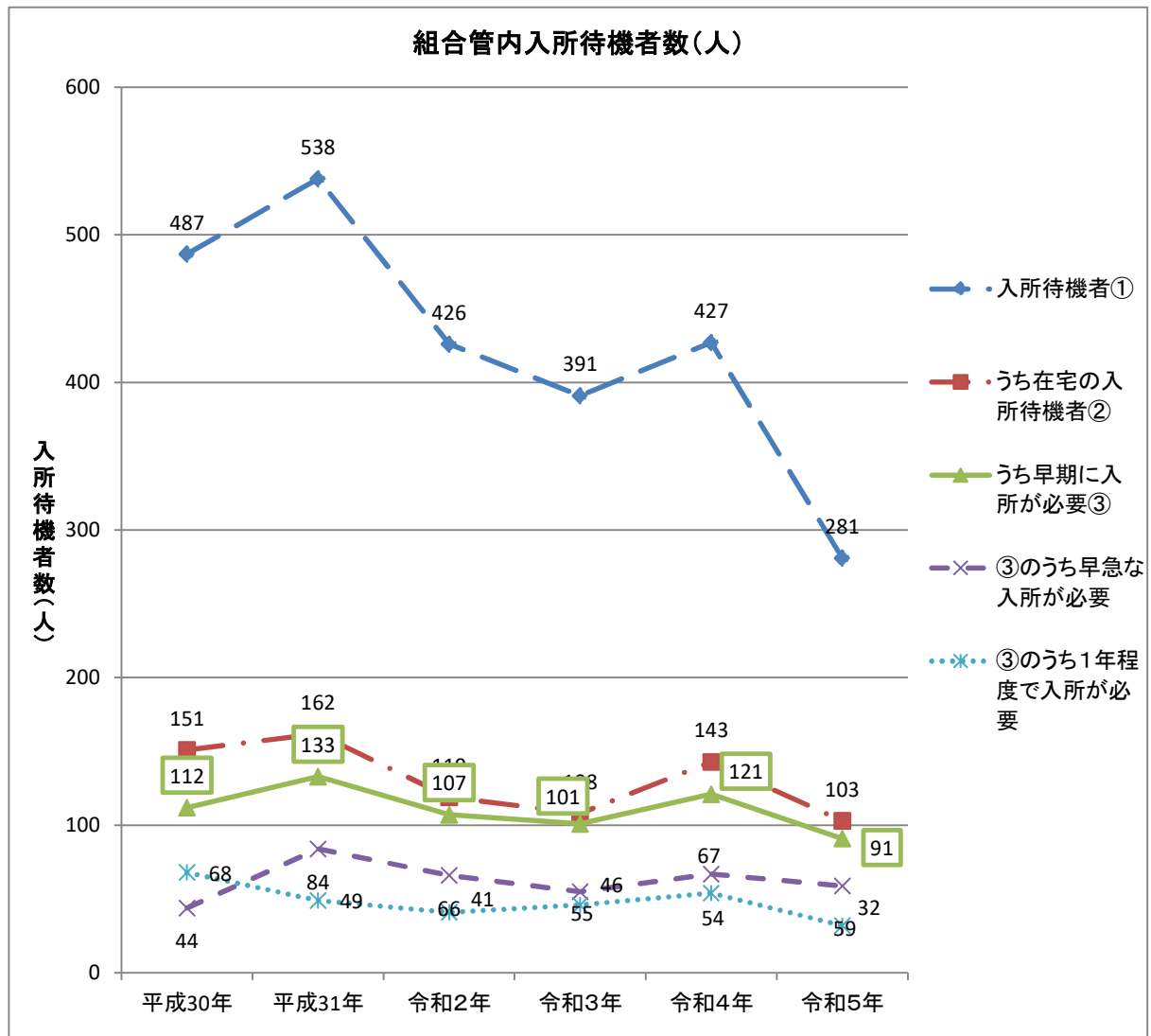
1 特別養護老人ホーム入所待機者数の状況について

(1) 各年基準日(4月1日)現在の在宅待機者の状況

令和5年4月1日現在の入所待機者数は281人であり、うち在宅での入所待機者は103人、そのうち早期に入所が必要とされた方は91人でした。

(一関地区広域行政組合管内計、単位：人)

項目	第6期計画	第7期計画			第8期計画	
	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
入所待機者数①	487	538	426	391	427	281
うち在宅の入所待機者②	151	162	119	108	143	103
うち早期に入所が必要③	112	133	107	101	121	91
③のうち早急に 入所が必要	44	84	66	55	67	59
③のうち1年程度で 入所が必要	68	49	41	46	54	32



(2) 各年基準日(4月1日)現在の地域別入所待機者の状況

令和5年4月1日現在で、早期に入所が必要な方が最も多い地域は一関地域(30人)で、次いで藤沢地域(18人)です。また、最も少ない地域は、花泉地域及び川崎地域の0人です。

(地域別計、単位:人)

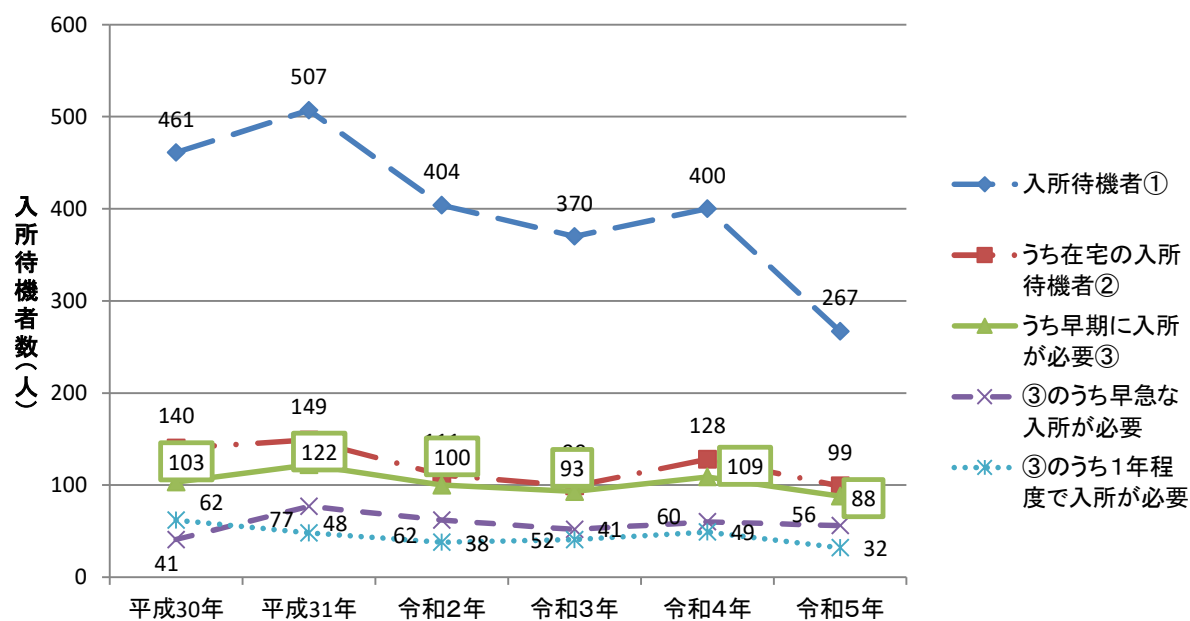
市町名	地域名	計画期	年	入所待機者 ①	うち在宅の入所待機者			
					②	うち早期に 入所が必要 な者③	③のうち早 急な入所が 必要	③のうち1年 程度で入所 が必要
	一関	第7期計画	30年	159	44	33	17	16
			31年	179	55	44	25	19
			R2年	135	36	30	18	12
		第8期計画	R3年	149	31	29	21	8
			R4年	155	44	35	22	13
			R5年	96	35	30	19	11
	花泉	第7期計画	30年	14	3	1	0	1
			31年	19	8	8	6	2
			R2年	15	1	1	1	0
		第8期計画	R3年	10	4	4	0	4
			R4年	23	9	9	6	3
			R5年	2	0	0	0	0
	大東	第7期計画	30年	80	18	14	3	11
			31年	78	24	17	13	4
			R2年	66	16	15	10	5
		第8期計画	R3年	48	13	11	7	4
			R4年	49	14	12	6	6
			R5年	42	17	17	11	6
	千厩	第7期計画	30年	57	22	19	7	12
			31年	57	19	14	7	7
			R2年	39	18	17	10	7
		第8期計画	R3年	52	22	21	11	10
			R4年	49	30	26	11	15
			R5年	33	12	10	4	6
	東山	第7期計画	30年	43	7	4	0	4
			31年	51	9	9	3	9
			R2年	45	8	8	4	4
		第8期計画	R3年	34	8	8	5	3
			R4年	31	5	5	2	3
			R5年	22	8	8	7	1
	室根	第7期計画	30年	25	12	9	5	4
			31年	30	10	10	6	4
			R2年	20	11	10	6	4
		第8期計画	R3年	17	8	8	0	8
			R4年	30	11	8	4	4
			R5年	16	6	5	4	1
	川崎	第7期計画	30年	22	10	8	2	6
			31年	23	8	7	7	0
			R2年	23	8	7	6	1
		第8期計画	R3年	8	1	1	1	0
			R4年	16	5	5	3	2
			R5年	6	0	0	0	0
	藤沢	第7期計画	30年	61	24	15	7	8
			31年	70	16	13	10	3
			R2年	61	13	12	7	5
		第8期計画	R3年	52	12	11	7	4
			R4年	47	10	9	6	3
			R5年	50	21	18	11	7

(続き)

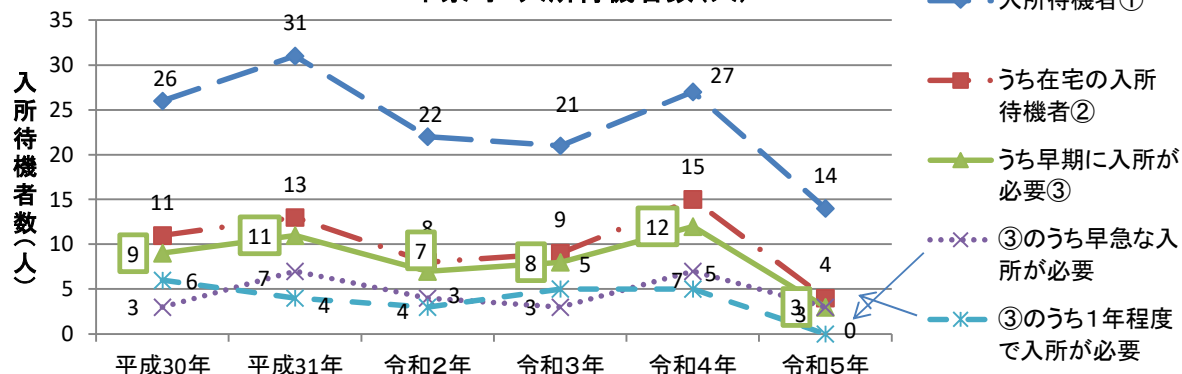
(地域別計、単位:人)

市町名	計画期	年	入所待機者 ①	うち在宅の入所待機者②			
				うち早期に入所が必要 な者③	③のうち早 急な入所が 必要	③のうち1年 程度で入所 が必要	
一関市	第7期計画	30年	461	140	103	41	62
		31年	507	149	122	77	48
		R2年	404	111	100	62	38
	第8期計画	R3年	370	99	93	52	41
		R4年	400	128	109	60	49
		R5年	267	99	88	56	32
平泉町	第7期計画	30年	26	11	9	3	6
		31年	31	13	11	7	4
		R2年	22	8	7	4	3
	第8期計画	R3年	21	9	8	3	5
		R4年	27	15	12	7	5
		R5年	14	4	3	3	0
合 計	第7期計画	30年	487	151	112	44	68
		31年	538	162	133	84	52
		R2年	426	119	107	66	41
	第8期計画	R3年	391	108	101	55	46
		R4年	427	143	121	67	54
		R5年	281	103	91	59	32

一関市 入所待機者数(人)



平泉町 入所待機者数(人)



第9期介護保険事業計画期間中（令和6～8年度）
介護（予防）サービス事業所整備希望調査結果

資料No. 4 ⑥- 1

1 調査概要

- （1）対象者：管内に介護サービス事業所を設置する法人 計 88 法人（管内 71 法人、管外 17 法人）
（2）回答数：49 法人

2 調査結果

第9期計画期間中に次の施設を整備する計画はありますか。

	ある	ない
整備計画	3 法人	46 法人

介護(予防)サービス事業所の種類			定員 (人)	か所数 (か所)	新築・ 増築 等	整備 希望 年度	開設 希望 年月	整備 計画 (注)	備考
(1) 居宅介護 (予防) サービス	①	(介護予防)訪問介護							
	②	(介護予防)訪問入浴介護							
	③	(介護予防)訪問看護							
	④	(介護予防)訪問リハビリテーション							
	⑤	(介護予防)居宅療養管理指導							
	⑥	(介護予防)通所介護							
	⑦	(介護予防)通所リハビリテーション							
	⑧	(介護予防)短期入所生活介護(特養)							
	⑨	(介護予防)短期入所療養介護(老健)							
	⑩	(介護予防)短期入所療養介護(療養型)							
	⑪	(介護予防)特定施設入居者生活介護(定員 30 人以上)							
	⑫	(介護予防)福祉用具貸与							
	⑬	特定(介護予防)福祉用具販売							
(2) 地域密着型 サービス	①	定期巡回・随時対応型訪問介護看護							
	②	夜間対応型訪問介護							
	③	(介護予防)認知症対応型通所介護							
	④	密着型通所介護							
	⑤	(介護予防)小規模多機能型居宅介護							
	⑥	(介護予防)認知症対応型共同生活介護	9	1	増築	R6	R7.3	A	
	⑦	密着型特定施設入居者生活介護(定員 29 人以下)	21	1	-	R6	R7.4	A	サービス付き高齢者住宅
	⑧	密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(定員 29 人以下)							
	⑨	複合型サービス(看護小規模多機能型)	29	1	新築	R8	R8	B	通い 18 人 泊まり 9 人

介護(予防)サービス事業所の種類			定員 (人)	か所数 (か所)	新築・ 増築 等	整備 希望 年度	開設 希望 年月	整備 計画 (注)	備考
(3) 居宅介護支援									
(4) 介護予防支援									
(5) 介護 保険 施設 サー ビス	①	介護老人福祉施設(定員 30 人以上)							
	②	介護老人保健施設(定員 30 人以上)							
	③	介護医療院	30	1	新築	R8	R8	B	
(6) 総合 事業	①	訪問型サービスA							
	②	通所型サービスA							
(7) (参考) 介護 保険 対象 外	①	サービス付き高齢者向け 住宅							
	②	軽費老人ホーム							
	③	有料老人ホーム							

(注) A : 具体的な整備計画がある。B : 具体的な計画はないが整備したいと考えている。

第9期介護保険事業計画用介護労働実態調査結果

資料No. 4 ⑥- 2

●貴法人の介護サービス事業について今後どのような方向性をお考えですか。
(回答法人数:49法人)

	増やす (拡大する)	減らす (縮小する)	わからない・ 変化なし
介護サービスの種類	3	2	44
事業所の規模	6	1	42
人件費総額	13	2	34

●貴法人の介護保険サービス事業所数と、介護保険サービス事業所に勤務している職種別の職員数、職員の過不足状況はどうですか。

事業所数

169 事業所

	職員数	職種別過不足状況 基準日:令和4年4月1日				
		不足している			足りている	
		慢性的に3名 以上不足して いる	慢性的に1～2 名程度不足し ている	職員の休暇等 により、不足す ることがある。	おおむね足り ている	十分足りてい る
介護員(資格の有無問わず)	1242	5	16	15	7	0
看護職員(看護師・准看護師)	234	0	8	13	11	3
介護支援専門員	151	0	5	5	16	3
社会福祉士	19	0	1	2	11	1
その他の資格(注)	115	0	3	4	15	1
上記を全体でみた場合	1761	5	5	6	7	1

注:理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士

●前の問で「全体で見た場合」に「不足している」と回答した法人のみお答えください。不足している理由はどれですか。また、どのように対応されているか

理由	法人数	左の理由に対して取り組んでいる対応など
離職率が高い(定着率が低い)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・手当の支給、紹介事業社の情報集め ・できる限り施設に近い地域の方を採用することになっている ・研修体系の整備、計画年次の取得促進 ・セクハラ、パワハラ防止 ・面談(上司と)して話を聞くようにする
労働時間が長い	2	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務シフト調整
賃金が低い	7	<ul style="list-style-type: none"> ・給与改定等を行い、職員の処遇改善に取り組んでいる ・難しい(企業規模を大きくし、収益性を高めるしかない……) ・社会福祉充実計画にて一時金の支給 ・処遇改善(賃金改善、資格取得支援等) ・処遇改善加算、特定処遇改善の取得 ・手当の増額を検討しているが、収支バランスが崩れる。小規模特養の報酬の増額を
採用が困難である	28	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに正規職員の採用募集を行い、計画的に職員を採用するよう取り組んでいる。 ・人材派遣会社への紹介を依頼している ・ホームページの新設、学校訪問、ハローワーク ・資格費用補助 ・有料の人材紹介の動きの方が良いです。採用の費用負担が、人件費より大変です。 ・ハローワーク以外の人材紹介会社等の活用 ・専門学校、高等学校新卒を募集 ・知人の紹介 ・正職員への登用を検討中 ・採算を黒字とするように訪問看護件数を増やす ・応募がないので、安定所に声かけしている。
仕事がきつい(身体的・精神的)	7	<ul style="list-style-type: none"> ・人との関わりで精神的につらい分、メンタルケアを対応。ストレスチェックなどの推進 ・介護補助的な職員の採用 ・訪問時間の調整、内容を吟味する
その他	6	<ul style="list-style-type: none"> ・嘱託職員等から正規職員への登用制度を設け職員のモチベーションを高めるよう取り組んでいる。 ・立地条件(山間部にある)。対応は難しい(施設移動は不可能) ・希望通り休みが取りにくい ・希望者がいない

●貴法人での、過去1年間(令和3年4月1日～令和4年3月31日まで)の採用者数と離職者数を職種別に記入してください。

	採用者数	離職者数
介護員(資格の有無問わず)	152	9
看護職員(看護師・准看護師)	45	33
介護支援専門員	9	9
社会福祉士	1	1
その他の資格(注)	16	10

注:理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士

●貴法人では、令和3年6月の事業収入を100とした場合、令和4年6月の事業収入はどのようになりましたかおおよその数字を記入してください。

※令和3年6月の事業収入がない事業所はご回答不要です。

令和3年6月の事業収入 令和4年6月の事業収入 %

●貴法人の令和4年6月の収支状況において、介護事業収入に占める人件費の割合を概算の数値でご記入ください。

介護事業収入に占める人件費の割合 %

1 調査の概要

調査期間 令和5年7月12日（水）～令和5年8月4日（金）

対象者 管内の指定居宅介護支援事業所、指定介護予防支援事業所及び小規模多機能型居宅介護事業所に勤務する介護支援専門員

62事業所

回答数 115 人

回答者の内訳

性別	男： 21 人	女： 94 人	
年代	20代： 2 人	30代： 11 人	40代： 42 人
	50代： 33 人	60代以上： 27 人	
法人	社会福祉法人： 40 人	医療法人： 23 人	営利法人： 9 人
	その他の法人： 43 人		

2 主な担当地区（複数回答可）

	回答者数
一関地域	66
花泉地域	17
大東地域	19
千厩地域	24
東山地域	14
室根地域	14
川崎地域	7
藤沢地域	16
平泉地域	17

3 現在のサービス量について

○全体

- ・「十分足りている」または「ほぼ足りている」という回答が、「やや不足している」または「不足している」という回答を上回ったサービスは、訪問入浴介護と通所介護であった。
- ・「やや不足している」という回答が多かったサービスは、訪問介護（71件）、通所リハビリテーション（70件）、訪問型サービス（68件）、訪問リハビリテーション（63件）
- ・「かなり不足している」という回答が多かったサービスは、定期巡回・随時対応型（83件）、認知症対応型通所介護（80件）、介護医療院（68件）、訪問リハビリテーション（60件）

サービス量の不足を感じているサービスの傾向

- ・訪問介護、訪問型サービス、訪問リハビリテーション等、訪問入浴を除く訪問サービス
- ・通所リハビリテーションや訪問リハビリテーション等のリハビリテーションにかかるサービス
- ・「かなり不足している」と回答されたサービスは、サービス事業所が管内の一部地域にしかない、または管内に事業所がないものが多い。
- ・定期巡回・随時対応型は「不足している」との回答が多かったが、管内の2事業所とも利用者数が少なく、うち1事業所は休止している。

○各地域別特徴（全体の傾向との比較）

- ・一関地域：短期入所療養介護や、介護老人福祉施設、介護老人保健施設について「やや不足」の回答が多い。
- ・花泉地域：短期入所療養介護を「やや不足」、複合型サービスについて「かなり不足」の回答が多い。
- ・大東地域：全体の傾向と同じ

- ・千厩地域：特定施設入居者生活介護、複合型サービス、訪問型サービスA、通所型サービスAについて「かなり不足」の回答が多い。
- ・東山地域：小規模多機能居宅介護について「かなり不足している」の回答が多い。
- ・室根地域：サービス事業所がない、短期入所療養介護、特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設、複合型サービス、介護老人保健施設の「かなり不足」の回答が多い。
- ・川崎地域：サービス事業所がない、短期入所療養介護、特定施設入居者生活介護、小規模多機能型居宅介護、複合型サービス、介護老人保健施設の「かなり不足」の回答が多い。
- ・藤沢地域：短期入所療養介護、特定施設入居者生活介護、複合型サービス、介護老人福祉施設、介護老人保健施設の「かなり不足」の回答が多い。
- ・平泉地域：特定施設入居者生活介護と認知症対応型共同生活介護の「やや不足」、介護医療院の「かなり不足」の回答が多い

4 今後のサービスの需要見込みについて

○全体

- ・サービス全体的に「かなり増える」、「増える」の回答が多い。
- 特に訪問介護、訪問看護、短期入所生活介護は「増える」見込みの回答が多い。

訪問入浴介護、特定施設入居者生活介護、地域密着型通所介護、地域密着型特定施設、地域密着型介護老人福祉施設、複合型サービス、通称型サービスAは「現状と変わらない」の回答が多い。

○各地域別特徴（全体の傾向との比較）

- ・一関地域：通所リハビリテーションの「増える」回答が多い
- ・花泉地域：訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション、地域密着型通所介護、地域密着型介護老人福祉施設、介護老人福祉施設の「増える」の回答が多い。
- ・大東地域：サービス全体的に「現状と変わらない」の回答が多い。
- ・千厩地域：「増える」の回答が多い訪問看護、短期入所生活介護、認知症対応型共同生活介護以外のサービスは「現状と変わらない」の回答が多い。
- ・東山地域：サービス全体的に「現状と変わらない」の回答が多い。
- ・室根地域：「増える」の回答が多い短期入所生活介護以外のサービスは、「現状と変わらない」の回答が多い。
- ・川崎地域：通所リハビリテーション、認知症対応型共同生活介護の「増える」の回答が多い。
- ・藤沢地域：訪問リハビリテーション、通所介護、短期入所療養介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設の「増える」の回答が多い。
- ・平泉地域：全体の傾向と同じ。

5 社会資源（保険外サービス、行政サービス、小規模なインフォーマルサービス等）の今後の必要性

- ・「かなり必要である」、「必要である」の合計順に「認知症に対する理解」、「身元保証、緊急連絡先の確保」、「家族支援、つながり」、「移送サービス」の回答が多い。

6 社会資源（保険外サービス、行政サービス、小規模なインフォーマルサービス等）の今後の需要見込み

- ・「かなり増える」、「増える」の合計順に、「身元保証、緊急連絡先の確保」、「移送サービス」、「認知症に対する理解」、「医療と介護の連携」の回答が多い。
- ・「サロン・地域の行事」や「家族支援、つながり」は需要が減ると見込んだ回答も一定数あった。

第9期介護保険事業計画策定スケジュール

資料No. 4 ⑧

介護保険課 介護保険総務係															
No.	項 目	業務の概要	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
1	○第8期介護保険事業計画進捗管理														
	進捗管理	県調査						○	○						
	保険者機能強化推進交付金	評価指標該当状況調べ	実績報告					該当状況調査							
	地域包括ケアシステム構築支援シート					○						○			
	包括支援センター運営状況調査			○											
	○第9期介護保険事業計画策定														
	介護予防・日常生活圏ニーズ調査	高齢者の生活実態、ニーズの把握 R4年度実施済													
	在宅介護実態調査	在宅介護の実態、ニーズの把握 R4年度実施済													
	介護保険サービス量に関する調査	ケアマネージャーから見たサービスの過不足				○	○	○							
	介護（予防）サービス事業所整備希望・介護労働実態調査	施設整備の意向、人材の充足状況 R4年度実施、R5年度集計	○	○	○										
	特別養護老人ホーム待機者数調査	待機者数			○	○						追跡調査			
	認知症高齢者GH入居待機者調査	待機者数					○	○	○						
	第8期の振り返りと第9期の作成	検討部会					8/3	9/22	10/24	11/24	12/8				
	第9期計画案作成	上記を受けて課内で調整しながら作成・予算要求					○	○	○	○	○				
	パブリックコメント	概要が固まった時点で実施									○	○	○		
	住民説明会（制度説明会同時開催）	65歳到達者には郵送案内、その他はHPに予定を掲載してはどうか										○	○		
	議員説明会	施設整備、保険料等（1～2回）											○		
	第9期計画説明会	介護保険制度説明会と合わせて実施										○	○		
	岩手県からの意見聴取	介護保険法第117条第10項の規定による意見照会											○		
	条例等策定	介護保険条例改正等の各条例制定										○	○	○	
2	○介護保険運営協議会														
	協議会の開催	介護保険事業計画の策定及び推進等							10/25		12/13		2/7		